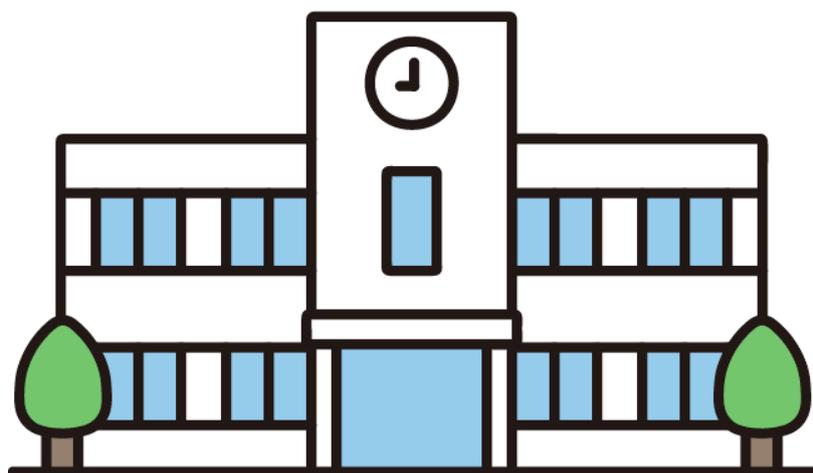


4

教育・子ども



幼稚園数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-01

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の子園数は608園で、前年度から8園減少しました。設置者別では、公立が34園、私立が574園で、国立はありません。

県内市町村で幼稚園数が最も多いのは横浜市で236園、次いで川崎市が79園です。中井町には幼稚園がありませんが、幼保連携型認定こども園が1園あります。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 学校基本調査と幼稚園

幼稚園は、学校教育法において「学校」と規定されているため、学校基本調査において把握されます。

幼稚園在園者数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-02 / 4-03
幼稚園在園者数(教員1人当たり) ▶▶▶ 1位 葉山町

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の子園在園者数は8万2798人で、前年度から7045人減少しました。男女別の内訳は、男子4万1837人、女子4万961人です。教員1人当たりの幼稚園在園者数は10.64人です。

県内市町村で幼稚園在園者数が最も多いのは横浜市で3万2155人です。教員1人あたりの幼稚園在園者数が最も多いのは葉山町で14.70人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]



統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]
公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年
文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

幼保連携型認定こども園数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-04

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の子保連携型認定こども園数は168園で、前年度から9園増加しました。設置者別では、公立が13園、私立が155園です。

県内市町村で幼保連携型認定こども園数が最も多いのは横浜市で52園、次いで相模原市で50園です。13市町村では幼保連携型認定こども園がなく、幼稚園のみあります。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 幼保連携型認定こども園

幼保連携型認定こども園は「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の改正(平成27年4月1日施行)により、新たな学校種として創設されました。

幼保連携型認定こども園在園者数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-05 / 4-06
幼保連携型認定こども園在園者数(教育・保育職員1人当たり) ▶▶▶ 1位 海老名市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の子保連携型認定こども園在園者数は2万4555人で、前年度から706人増加しました。男女別の内訳は、男子1万2453人、女子1万2102人です。教育・保育職員1人当たりの幼保連携型認定こども園在園者数は6.42人です。

県内市町村で幼保連携型認定こども園在園者数が最も多いのは横浜市で9810人です。幼保連携型認定こども園が所在する市町村の中で教育・保育職員1人当たりの幼保連携型認定こども園在園者数が最も多いのは海老名市で15.00人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

認定こども園

認定こども園は、幼稚園、保育所等において、就学前のすべての子どもを対象にして教育・保育を提供するとともに地域において子育て支援を実施する施設のうちから知事が認定するものです。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4類型があります。

幼保連携型	幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ
幼稚園型	認可幼稚園が、保育が必要なこどものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ
保育所型	認可保育所が、保育が必要なこども以外のこどもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ
地域裁量型	幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ

市町村・地域名	幼稚園数		幼稚園在園者数		幼稚園在園者数 (教員1人当たり)		幼保連携型 認定こども園数		幼保連携型 認定こども園 在園者数		幼保連携型 認定こども園 在園者数 <small>(教員・保育職員1人当たり)</small>	
	2023年	4-01	2023年	4-02	2023年	4-03	2023年	4-04	2023年	4-05	2023年	4-06
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	608		82,798		10.64		168		24,555		6.42	
横浜市	236	1	32,155	1	10.16	16	52	1	9,810	1	7.16	11
川崎市	79	2	13,420	2	11.17	10	5	5	872	6	6.27	13
相模原市	42	3	6,053	3	10.16	17	50	2	5,647	2	5.30	17
横須賀市	31	5	3,480	5	9.78	19	26	3	2,849	3	5.83	16
平塚市	22	6	2,516	7	10.80	13	3	7	454	7	7.21	9
鎌倉市	19	7	2,021	10	10.75	14	3	7	363	10	3.95	20
藤沢市	32	4	5,096	4	13.38	4	-	-	-	-	-	-
小田原市	16	9	1,185	14	10.97	11	1	13	142	16	9.47	7
茅ヶ崎市	14	11	2,324	9	13.20	5	2	9	442	8	9.61	6
逗子市	5	17	378	20	9.00	22	-	-	-	-	-	-
三浦市	3	21	298	21	12.42	8	-	-	-	-	-	-
秦野市	9	12	620	16	9.54	21	8	4	1,023	5	6.13	15
厚木市	18	8	2,381	8	8.75	24	-	-	-	-	-	-
大和市	16	9	2,808	6	12.32	9	1	13	185	12	4.74	18
伊勢原市	5	17	772	15	9.65	20	5	5	1,202	4	7.56	8
海老名市	7	15	1,631	11	12.74	6	1	13	195	11	15.00	1
座間市	9	12	1,593	12	10.48	15	-	-	-	-	-	-
南足柄市	6	16	226	23	6.85	27	1	13	168	14	9.88	4
綾瀬市	9	12	1,358	13	12.57	7	1	13	112	17	6.22	14
葉山町	5	17	588	17	14.70	1	-	-	-	-	-	-
寒川町	2	25	422	19	13.61	3	2	9	435	9	10.61	3
大磯町	3	21	228	22	10.86	12	2	9	180	13	7.20	10
二宮町	5	17	500	18	8.77	23	-	-	-	-	-	-
中井町	-	-	-	-	-	-	1	13	102	20	6.80	12
大井町	3	21	151	26	10.07	18	-	-	-	-	-	-
山北町	2	25	92	27	7.67	26	-	-	-	-	-	-
開成町	1	28	22	31	5.50	29	1	13	107	19	9.73	5
箱根町	1	28	191	24	14.69	2	-	-	-	-	-	-
箱根町	1	28	6	32	2.00	32	2	9	111	18	4.63	19
真鶴町	1	28	23	29	5.75	28	-	-	-	-	-	-
湯河原町	2	25	46	28	3.83	30	-	-	-	-	-	-
愛川町	3	21	191	24	8.30	25	1	13	156	15	12.00	2
清川村	1	28	23	29	2.88	31	-	-	-	-	-	-

横浜地域	236	1	32,155	1	10.16	5	52	2	9,810	1	7.16	3
川崎地域	79	4	13,420	3	11.17	2	5	6	872	5	6.27	4
横須賀三浦地域	63	5	6,765	5	10.41	4	29	3	3,212	4	5.53	5
県央地域	105	2	16,038	2	10.59	3	54	1	6,295	2	5.48	6
湘南地域	92	3	12,478	4	11.95	1	22	4	3,736	3	7.46	2
県西地域	33	6	1,942	6	9.52	6	6	5	630	6	7.68	1

4-01~4-06 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
 公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

注釈

- 4-01~4-06
 1)2023年5月1日現在の値。
 4-02~4-03、4-05~4-06
 1)園の所在する市町村ごとに集計している。
 4-03
 1)幼稚園在園者数を、幼稚園の本務の教員及び教育補助員の合計数で除したもの。
 4-06
 1)幼保連携型認定こども園在園者数を、幼保連携型認定こども園の本務の教育・保育職員、保育士、教育・保育補助員の合計数で除したもの。

4 教育・子ども

4-07
保育所数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所数は1901施設で、前年度から36施設増加しました。

県内市町村で保育所数が最も多いのは横浜市で857施設、次いで川崎市が436施設です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県次世代育成課調]

4-08 / 4-09
保育所入所児童数 ▶▶▶ 1位 横浜市
保育所入所児童数(保育士1人当たり) ▶▶▶ 1位 南足柄市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所入所児童数は14万7766人で、前年度から1486人増加しました。3歳未満は6万1438人、3歳以上は8万6328人です。保育士1人当たりの保育所入所児童数は4.24人です。

県内市町村で保育所入所児童数が最も多いのは横浜市で6万4043人です。保育士1人あたりの入所児童数が最も多いのは南足柄市で5.89人、最も少ないのは箱根町で1.94人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県次世代育成課調]



統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版) [県統計センター]
公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
神奈川県の子どもの土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

4-10 / 4-11
保留児童数 ▶▶▶ 1位 横浜市
待機児童数 ▶▶▶ 1位 鎌倉市

指標 2024年4月1日現在の神奈川県の子どもの保育所等の保留児童数は8869人、待機児童数は188人です。待機児童数は前年から34人減少しました。

県内市町村で保留児童数が最も多いのは横浜市で3327人です。中井町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村の6市町村では保留児童が0人となっています。

県内市町村で待機児童数が最も多いのは鎌倉市で34人です。川崎市等の15市町村では待機児童が0人となっています。

この統計は [保育所等利用待機児童数の状況]

用語 保育所等、保留児童数、待機児童数

「保育所等利用待機児童数の状況」において、「保育所等」とは以下のものをいいます。

- ・保育所
- ・認定こども園(幼稚園機能部分を除く。)
- ・地域型保育事業(小規模保育、家庭的保育、事業所内保育及び居宅訪問型保育の各事業)

「保留児童数」とは、保育所等利用申込者数から利用児童数を差し引いたものです。

「待機児童数」とは、保留児童数から以下の7つの要件に該当する者を差し引いたものです。

- ① 預かり保育を実施している幼稚園において保育されている者
- ② 国庫補助を受けている認可外保育施設において保育されている者
- ③ 企業主導型保育事業(企業が自社の従業員の子どもや地域の子どもの受け入れるために設置する保育施設)において保育されている者
- ④ 地方単独補助を受けている認可外保育施設において保育されている者
- ⑤ 保護者が求職活動中のうち、求職活動を休止している者
- ⑥ 特定の保育所を希望し、保護者の私的な理由により待機している者
- ⑦ 保護者が育児休業中の者

統計情報 保育所等利用待機児童数の状況

保育所等利用待機児童数の状況(令和6年4月1日現在)
[県福祉子どもみらい局次世代育成課]
公表日:令和6年6月14日 公表周期:毎年
待機児童数を、厚生労働省の「保育所等利用待機児童数調査要領」の待機児童の定義に基づき集計しています。

市町村・地域名	保育所数		保育所入所児童数		保育所入所児童数 (保育士1人当たり)		保留児童数		待機児童数	
	2022年 4-07		2022年 4-08		2022年 4-09		2024年 4-10		2024年 4-11	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	施設		人		人		人		人	
神奈川県	1,901		147,766		4.24		8,869		188	
横浜市	857	1	64,043	1	4.46	11	3,327	1	5	13
川崎市	436	2	32,502	2	4.29	12	1,643	2	0	19
相模原市	103	3	8,128	3	3.72	23	645	3	7	10
横須賀市	31	10	2,340	11	3.96	21	272	7	6	11
平塚市	36	7	3,706	7	3.99	20	260	8	4	14
鎌倉市	29	11	2,366	10	3.54	27	216	10	34	1
藤沢市	86	4	7,890	4	4.19	15	500	4	11	6
小田原市	32	9	3,009	8	4.77	6	77	15	3	15
茅ヶ崎市	47	6	4,099	6	4.53	9	369	6	9	8
逗子市	7	17	749	17	4.68	7	36	20	6	11
三浦市	4	22	312	24	4.52	10	55	17	0	19
秦野市	24	14	1,594	14	4.02	19	42	19	0	19
厚木市	36	7	2,833	9	3.57	25	189	11	0	19
大和市	57	5	4,167	5	3.42	28	383	5	0	19
伊勢原市	12	15	1,105	15	4.15	16	158	12	16	4
海老名市	26	12	2,288	12	3.82	22	229	9	18	3
座間市	25	13	1,746	13	3.31	29	116	13	30	2
南足柄市	5	19	530	19	5.89	1	11	26	0	19
綾瀬市	10	16	1,015	16	4.21	13	111	14	9	8
葉山町	5	19	369	22	4.19	14	18	24	10	7
寒川町	4	22	688	18	5.73	2	61	16	3	15
大磯町	2	26	230	27	3.54	26	54	18	12	5
二宮町	5	19	381	21	4.14	17	11	26	0	19
中井町	1	29	57	30	2.71	32	0	28	0	19
大井町	2	26	263	26	5.48	3	23	23	2	18
松田町	1	29	125	28	5.00	5	12	25	3	15
山北町	1	29	56	31	2.95	30	0	28	0	19
開成町	3	25	394	20	4.64	8	25	22	0	19
箱根町	1	29	35	32	1.94	33	0	28	0	19
真鶴町	2	26	78	29	5.20	4	0	28	0	19
湯河原町	4	22	269	25	4.08	18	0	28	0	19
愛川町	6	18	368	23	3.72	24	26	21	0	19
清川村	1	29	31	33	2.82	31	0	28	0	19

横浜市地域	857	1	64,043	1	4.46	2	3,327	1	5	5
川崎市地域	436	2	32,502	2	4.29	3	1,643	3	0	6
横須賀三浦地域	76	5	6,136	5	3.89	5	597	5	56	2
県央地域	264	3	20,576	3	3.63	6	1,699	2	64	1
湘南地域	216	4	19,693	4	4.23	4	1,455	4	55	3
県西地域	52	6	4,816	6	4.73	1	148	6	8	4

4-07~4-09 県勢要覧2023(令和5年度版)、 4-10~4-11 保育所等利用待機児童数の状況

注釈

4-07~4-09

1)2022年4月1日現在の値。

4-09

1)入所児童数を、保育士数(有資格の常勤・非常勤職員の合計数)で除したものの。

4-10~4-11

1)2024年4月1日現在の値。

小学校数 ▶▶ 1位 横浜市 4-12

指標 2023年5月1日現在の神奈川県的小学校数は881校で、前年度から1校減少しました。設置者別では、国立が2校、公立が847校、私立が32校です。

県内市町村で小学校数が最も多いのは横浜市で349校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

小学校児童数 ▶▶ 1位 横浜市 4-13 / 4-14

小学校児童数(教員1人当たり) ▶▶ 1位 藤沢市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県的小学校児童数は43万9962人で、前年度から6675人減少しました。男女の内訳は、男子22万5174人、女子21万4788人です。教員1人当たりの小学校児童数は16.45人です。

県内市町村で小学校児童数が最も多いのは横浜市で17万6979人です。教員1人あたりの小学校児童数が最も多いのは藤沢市で19.62人、最も少ないのは箱根町で5.00人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

特別支援教育

「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

平成19年4月から、「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障害のある幼児児童生徒の支援をさらに充実していくこととなりました。

2023年5月1日現在の神奈川県の特別支援学校数は53校で、県内13市町村に所在しています。

また、2023年5月1日現在の神奈川県の特別支援学級を設置している小学校数は816校、中学校数は390校、義務教育学校数は5校です。

特別支援学校

	学校数※	在学者数
幼稚部	9校	78人
小学部	48校	2,221人
中学部	47校	1,470人
高等部	49校	4,588人
計	53校	8,357人

特別支援学級設置の小・中学校

	学校数	児童生徒数
小学校	816校	18,652人
中学校	390校	6,380人
義務教育学校	5校	116人

※特別支援学校は1つの学校の中に複数の設置部があるため、計は重複を除いています。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

小学校外国人児童数 ▶▶ 1位 横浜市 4-15

指標 2023年5月1日現在の神奈川県的小学校外国人児童数は8244人で、前年度から836人増加しました。

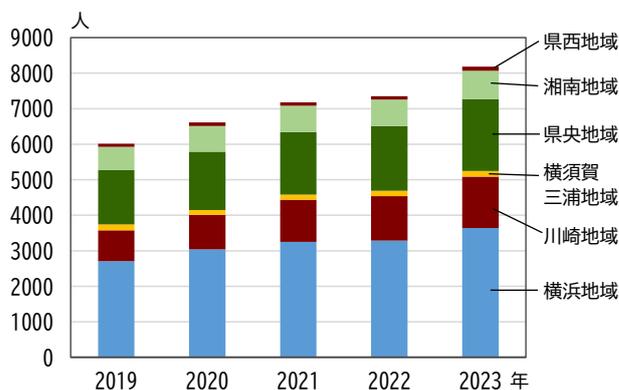
県内市町村で公立小学校外国人児童数が最も多いのは横浜市で3639人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 外国人

「外国人」とは、日本国籍を持っていない者をいいます。二重国籍者は日本人として計上しています。

小学校外国人児童数の推移



この統計は [令和元年～令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]

公表日: 令和6年1月25日 公表周期: 毎年

文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

市町村・地域名	小学校数		小学校児童数		小学校児童数 (教員1人当たり)		小学校 外国人児童数	
	2023年 値	4-12 順位	2023年 値	4-13 順位	2023年 値	4-14 順位	2023年 値	4-15 順位
神奈川県	881		439,962		16.45		8,244	
横浜市	349	1	176,979	1	16.52	9	3,639	1
川崎市	118	2	75,261	2	17.81	3	1,447	2
相模原市	72	3	33,782	3	16.15	10	555	3
横須賀市	47	4	16,321	5	14.01	23	138	11
平塚市	29	6	11,820	8	15.29	18	221	8
鎌倉市	19	11	9,114	10	17.00	5	13	20
藤沢市	38	5	24,580	4	19.62	1	245	7
小田原市	26	7	8,350	11	14.10	22	55	15
茅ヶ崎市	20	9	12,905	6	18.89	2	41	16
逗子市	6	18	2,741	17	16.12	11	7	21
三浦市	8	17	1,332	23	10.25	31	-	
秦野市	13	12	7,326	12	15.55	15	117	14
厚木市	24	8	10,525	9	15.32	17	406	4
大和市	20	9	11,918	7	15.87	13	312	5
伊勢原市	10	15	4,618	15	14.30	21	131	13
海老名市	13	12	7,101	13	16.67	8	132	12
座間市	11	14	5,961	14	16.93	7	164	10
南足柄市	5	20	1,863	19	13.40	24	14	19
綾瀬市	10	15	4,406	16	14.64	20	267	6
葉山町	4	23	1,785	20	14.75	19	4	27
寒川町	5	20	2,581	18	17.09	4	37	17
大磯町	4	23	1,527	22	15.91	12	5	24
二宮町	3	25	1,145	25	15.47	16	5	24
中井町	2	28	326	30	10.52	30	21	18
大井町	3	25	774	26	10.75	29	6	23
松田町	2	28	408	28	11.03	28	-	
山北町	1	32	362	29	15.74	14	1	30
開成町	2	28	1,155	24	16.99	6	7	21
箱根町	5	20	300	31	5.00	33	3	28
真鶴町	1	32	198	32	11.65	26	-	
湯河原町	3	25	697	27	11.06	27	5	24
愛川町	6	18	1,688	21	12.41	25	183	9
清川村	2	28	113	33	5.65	32	2	29

横浜地域	349	1	176,979	1	16.52	3	3,639	1
川崎地域	118	4	75,261	3	17.81	1	1,447	3
横須賀三浦地域	84	5	31,293	5	14.75	5	162	5
県央地域	158	2	75,494	2	15.84	4	2,021	2
湘南地域	122	3	66,502	4	17.39	2	802	4
県西地域	50	6	14,433	6	13.10	6	112	6

4-12～4-15 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]

公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年

学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

注釈

4-12～4-15

1)2023年5月1日現在の値。

4-13～4-15

1)小学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-14

1)小学校児童数を、小学校教員数(本務者)で除したものと。

4-15

1)市町村の数値は公立小学校に通う外国人生徒数である。神奈川県の数値には国立及び私立小学校に通う外国人児童数を含むため、市町村計と一致しない。

4-16
中学校数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校数は471校で、前年度から2校減少しました。設置者別では、国立が2校、公立が406校、私立が63校です。

県内市町村で中学校数が最も多いのは横浜市で176校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

4-17 / 4-18
中学校生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市
中学校生徒数(教員1人当たり) ▶▶▶ 1位 藤沢市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校生徒数は22万3823人で、前年度から1557人減少しました。男女の内訳は、男子11万4351人、女子10万9472人です。教員1人当たりの中学校生徒数は15.09人です。

県内市町村で中学校生徒数が最も多いのは横浜市で9万183人です。教員1人あたりの中学校生徒数が最も多いのは藤沢市で17.57人、最も少ないのは清川村で2.68人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

義務教育学校

義務教育学校は、学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、学校教育法の改正(平成28年4月1日施行)により、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施する学校種として創設されました。

1つの学校として、一体的に小中一貫教育を行うもので、教育課程については、前期課程は小学校における教育と同一の目標を、後期課程においては中学校における教育と同一の目標を達成するように行われるものとされています。

2023年5月1日現在の神奈川県義務教育学校数は5校で、このうち3校が横浜市、2校が相模原市内の公立学校です。児童生徒数は2588人で、前期課程(1~6学年)は1815人、後期課程(7~9学年)は773人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
 [県統計センター]
 公表日: 令和6年1月25日 公表周期: 毎年
 文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

4-19
中学校外国人生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の中学校外国人生徒数は2774人です。

県内市町村で中学校外国人生徒数が最も多いのは横浜市で1178人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 外国人

「外国人」とは、日本国籍を持っていない者をいいます。二重国籍者は日本人として計上しています。

中等教育学校

中等教育学校は、従来の制度に加えて、6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、学校教育法の改正(平成11年4月1日施行)により創設された学校です。

1つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うもので、教育課程については、前期課程では中学校の基準を、後期課程では高等学校の基準を準用するとともに、特色ある教育課程を編成できるよう、基準の特例を設けています。

2023年5月1日現在の神奈川県中等教育学校数は4校です。設置者別では公立が2校、私立が2校です。県内市町村別にみると、横浜市、相模原市、平塚市、伊勢原市にそれぞれ1校ずつあります

生徒数は前期課程が2270人、後期課程が1911人の計4181人で、前年度から157人増加しました。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
 公表日: 令和5年12月20日 公表周期: 毎年
 学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	中学校数		中学校生徒数		中学校生徒数 (教員1人当たり)		中学校 外国人生徒数	
	2023年 値	4-16 順位	2023年 値	4-17 順位	2023年 値	4-18 順位	2023年 値	4-19 順位
神奈川県	471		223,823		15.09		2,774	
横浜市	176	1	90,183	1	15.69	3	1,178	1
川崎市	58	2	33,769	2	15.60	4	305	2
相模原市	38	3	17,156	3	14.73	12	189	3
横須賀市	25	4	8,972	5	13.02	21	34	14
平塚市	17	6	6,134	8	13.45	19	97	8
鎌倉市	16	7	6,258	6	15.45	6	5	20
藤沢市	25	4	13,367	4	17.57	1	108	6
小田原市	13	9	4,361	11	13.14	20	29	15
茅ヶ崎市	14	8	6,203	7	15.35	7	14	16
逗子市	5	15	1,967	17	14.57	14	5	20
三浦市	3	19	780	23	10.54	27	-	
秦野市	9	12	3,942	12	13.59	18	73	10
厚木市	13	9	5,600	10	13.79	16	158	4
大和市	10	11	6,021	9	15.17	8	128	5
伊勢原市	4	17	2,296	16	14.81	10	40	12
海老名市	6	13	3,365	13	15.95	2	39	13
座間市	6	13	3,101	14	15.51	5	62	11
南足柄市	3	19	998	19	11.88	23	4	23
綾瀬市	5	15	2,428	15	14.99	9	104	7
葉山町	2	23	823	21	14.19	15	-	
寒川町	3	19	1,286	18	14.78	11	14	16
大磯町	4	17	823	21	10.97	26	1	25
二宮町	2	23	606	24	11.43	24	5	20
中井町	1	27	218	29	9.48	29	8	18
大井町	1	27	466	26	13.71	17	1	25
松田町	1	27	226	28	9.83	28	-	
山北町	1	27	183	31	9.15	30	-	
開成町	1	27	528	25	14.67	13	-	
箱根町	2	23	213	30	7.10	32	-	
真鶴町	1	27	90	32	7.50	31	2	24
湯河原町	1	27	428	27	12.23	22	6	19
愛川町	3	19	973	20	11.31	25	76	9
清川村	2	23	59	33	2.68	33	-	

横浜市地域	176	1	90,183	1	15.69	1	1,178	1
川崎市地域	58	4	33,769	4	15.60	2	305	4
横須賀三浦地域	51	5	18,800	5	13.81	5	44	6
県央地域	83	2	38,703	2	14.61	4	756	2
湘南地域	78	3	34,657	3	15.19	3	352	3
県西地域	25	6	7,711	6	12.26	6	50	5

4-16～4-19 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

注釈

4-16～4-19

1)2023年5月1日現在の値。

4-17～4-19

1)中学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-18

1)中学校生徒数を、中学校教員数(本務者)で除したものの。

4-19

1)市町村の数値は公立中学校に通う生徒数である。神奈川県の数値には私立中学校に通う外国人生徒数を含むため、市町村計と一致しない。なお、2023年5月1日現在の国立中学校に通う外国人生徒数は該当数値なしとなった。

4-20

高等学校数(全日制・定時制)

▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の全日制と定時制の高等学校数は228校です。設置者別では、県立が134校、市立が15校、私立が79校で、国立はありません。また、全体のうち、全日制が201校、定時制が3校、併置が24校となっています。

県内市町村で全日制と定時制の高等学校数が最も多いのは横浜市で91校です。5市町村には高等学校がありません。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

4-21 / 4-22

高等学校生徒数(全日制・定時制)

▶▶▶ 1位 横浜市

高等学校生徒数(全日制・定時制)

(教員1人当たり)

▶▶▶ 1位 松田町

指標 2023年5月1日現在の神奈川県の全日制と定時制の高等学校生徒数は19万1661人で、前年度から1405人減少しました。男女の内訳は、男子9万7261人、女子9万4400人です。教員1人当たりの高等学校生徒数は14.93人です。

県内市町村で高等学校生徒数が最も多いのは横浜市で7万9821人です。教員1人あたりの高等学校生徒数が最も多いのは松田町で23.33人、最も少ないのは大井町で4.94人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]

公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年

文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

4-23

大学等進学率 ▶▶▶ 1位 箱根町

指標 神奈川県の2023年3月高等学校卒業者の大学等進学率は68.08%です。

県内市町村で大学等進学率が最も高いのは箱根町で93.94%です。

県内地域別みると、大学等進学率が最も高いのは横浜地域で71.07%です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 大学等進学率

全日制・定時制高等学校卒業生数のうち、大学(学部・別科)、短期大学(本科・別科)、大学・短期大学の通信教育部、放送大学、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者の割合をいいます。

高等学校(通信制)

高等学校の通信制課程は、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして戦後に制度化されました。通信手段を主体とし、添削指導・面接指導・試験の方法により教育を実施しています。また、これらに加えてインターネットやテレビ放送等の多様なメディアを利用した指導を行うことができます。

近年では、学習時間や時期、方法等を自ら選択して自分のペースで学ぶことができる通信教育ならではの長を生かして、勤労青年のみならず、スタートラインも目指すゴールも異なる多様な生徒に対して教育機会を提供しています。

2023年5月1日現在の神奈川県の通信制の高等学校数は7校です。設置者別では公立が2校、私立が5校です。市町村別にみると、横浜市に4校、厚木市に2校、山北町に1校あります。

生徒数は5428人で、男女別の内訳は男性3115人、女性2313人です。15歳から60歳以上まで、幅広い年代が在籍しています。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]

公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年

学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	高等学校数 (全日制・定時制)		高等学校生徒数 (全日制・定時制)		高等学校生徒数 (全日制・定時制) (教員1人当たり)		大学等進学率	
	2023年		2023年		2023年		2023年	
	4-20	4-20	4-21	4-21	4-22	4-22	4-23	4-23
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	校 228		人 191,661		人 14.93		% 68.08	
横浜市	91	1	79,821	1	15.36	8	71.07	7
川崎市	25	2	21,692	2	14.15	15	69.30	10
相模原市	17	3	15,078	3	15.21	9	69.18	11
横須賀市	12	5	10,412	5	14.05	16	62.90	13
平塚市	6	8	4,918	8	14.26	14	50.40	20
鎌倉市	10	6	7,068	6	16.59	2	79.21	4
藤沢市	15	4	12,318	4	16.12	6	74.62	5
小田原市	7	7	5,407	7	13.42	19	61.49	15
茅ヶ崎市	5	11	4,759	9	16.47	3	68.83	12
逗子市	3	12	1,817	17	14.54	13	61.54	14
三浦市	1	18	551	24	10.40	26	17.79	24
秦野市	3	12	2,491	15	14.65	12	70.01	9
厚木市	6	8	4,554	11	13.09	20	57.87	18
大和市	6	8	4,588	10	14.80	11	61.28	16
伊勢原市	3	12	3,217	12	16.09	7	74.10	6
海老名市	3	12	2,668	13	16.17	5	71.00	8
座間市	3	12	2,523	14	14.02	17	60.00	17
南足柄市	1	18	707	20	12.19	21	57.83	19
綾瀬市	2	17	1,852	16	14.82	10	35.41	23
葉山町	-		-		-		-	
寒川町	1	18	649	22	11.80	23	14.80	26
大磯町	1	18	821	19	16.42	4	83.88	2
二宮町	1	18	702	21	11.90	22	48.71	21
中井町	-		-		-		-	
大井町	1	18	237	27	4.94	28	8.41	28
松田町	1	18	1,213	18	23.33	1	83.70	3
山北町	1	18	538	25	13.45	18	40.74	22
開成町	1	18	356	26	7.91	27	13.71	27
箱根町	1	18	90	28	11.25	25	93.94	1
真鶴町	-		-		-		-	
湯河原町	-		-		-		-	
愛川町	1	18	614	23	11.37	24	16.56	25
清川村	-		-		-		-	

横浜地域	91	1	79,821	1	15.36	2	71.07	1
川崎地域	25	5	21,692	4	14.15	5	69.30	2
横須賀三浦地域	26	4	19,848	5	14.76	3	67.19	4
県央地域	38	2	31,877	2	14.67	4	63.22	5
湘南地域	35	3	29,875	3	15.46	1	67.47	3
県西地域	13	6	8,548	6	13.07	6	60.05	6

4-20～4-23 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

注釈

4-20～4-22

1)2023年5月1日現在の値。

4-21～4-22

1)高等学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-22

1)全日制・定時制高等学校生徒数を、全日制・定時制高等学校教員数(本務者)で除したものの。

4-23

1)卒業した全日制・定時制高等学校の所在する市町村ごとに集計している。

専修学校数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-24

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の専修学校数は106校です。設置者別では、公立が5校、私立が101校です。

県内市町村で専修学校があるのは15市町村です。
県内で専修学校数が最も多いのは横浜市で60校です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

用語 専修学校

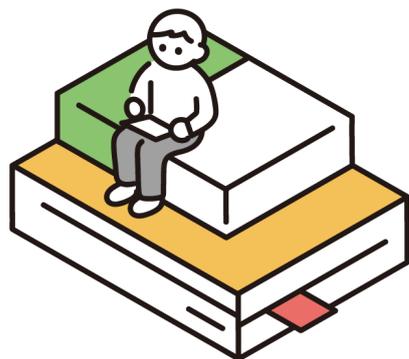
専修学校とは、学校教育法の中で「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。

専修学校生徒数 ▶▶▶ 1位 横浜市 4-25

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の専修学校生徒数は2万5810人です。男女の内訳は、男性1万975人、女性1万4835人です。

県内市町村で専修学校生徒数が最も多いのは横浜市で1万9353人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]



統計情報 神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)

令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)
[県統計センター]
公表日:令和6年1月25日 公表周期:毎年
文部科学省が統計法に基づいて実施し公表する学校基本調査のうち、神奈川県分について集計し取りまとめたものです。

大学等留学生数(居住地別) ▶▶▶ 1位 横浜市 4-26

指標 2023年5月1日現在の神奈川県内の大学等に在籍する留学生数は1万1956人です。そのうち1万13人が県内に居住しています。

県内市町村で県内大学等に在籍する留学生が最も多く居住しているのは横浜市で5246人です。

この統計は [令和5年度神奈川県内大学等に在籍留学生調査結果]

用語 留学生

この調査でいう「留学生」とは、神奈川県内の大学、大学院、短期大学、大学校、専修学校(専門課程)、日本語教育機関等(以下「大学等」という。)において教育を受ける外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める「留学」の在留資格により在留する者をいいます。

各種学校

各種学校とは、明治12年の教育令中「学校は小学校・中学校・大学校・師範学校・専門学校、その他各種の学校とする」に始まるといわれており、和洋裁、簿記、珠算、自動車整備、調理・栄養、看護師、保健師、理容、美容、タイプ、英会話、工業などをはじめとする各種の教育施設を含んでいます。

2023年5月1日現在の神奈川県内の各種学校数は12校です。横浜市に10校、川崎市に2校あり、全て私立です。

生徒数は3568人で、男女別の内訳は男性1801人、女性1767人です。

この統計は [令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)]

統計情報 学校基本調査

令和5年度学校基本調査 [文部科学省]
公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

市町村・地域名	専修学校数		専修学校生徒数		大学等留学生数 (居住地別)	
	2023年 値	4-24 順位	2023年 値	4-25 順位	2023年 値	4-26 順位
神奈川県	106		25,810		10,013	
横浜市	60	1	19,353	1	5,246	1
川崎市	7	2	924	2	1,688	2
相模原市	6	3	749	5	619	4
横須賀市	4	5	393	10	287	7
平塚市	6	3	916	3	283	8
鎌倉市	1	12	83	13	10	16
藤沢市	4	5	348	11	333	5
小田原市	4	5	413	8	72	12
茅ヶ崎市	2	10	588	7	64	13
逗子市	-		-		10	16
三浦市	1	12	78	14	2	20
秦野市	1	12	60	15	660	3
厚木市	4	5	634	6	303	6
大和市	2	10	397	9	143	9
伊勢原市	1	12	89	12	111	10
海老名市	-		-		98	11
座間市	-		-		55	14
南足柄市	-		-		-	
綾瀬市	3	9	785	4	15	15
葉山町	-		-		-	
寒川町	-		-		5	18
大磯町	-		-		-	
二宮町	-		-		1	22
中井町	-		-		-	
大井町	-		-		-	
松田町	-		-		2	20
山北町	-		-		-	
開成町	-		-		-	
箱根町	-		-		1	22
真鶴町	-		-		-	
湯河原町	-		-		-	
愛川町	-		-		5	18
清川村	-		-		-	

横浜地域	60	1	19,353	1	5,246	1
川崎地域	7	4	924	4	1,688	2
横須賀三浦地域	6	5	554	5	309	5
県央地域	15	2	2,565	2	1,238	4
湘南地域	14	3	2,001	3	1,457	3
県西地域	4	6	413	6	75	6

4-24～4-25 令和5年度神奈川県学校基本統計(学校基本調査報告書)、
4-26 令和5年度神奈川県内大学等在籍留学生調査結果

統計情報 神奈川県内大学等在籍留学生調査結果

令和5年度神奈川県内大学等在籍留学生調査結果
〔県文化スポーツ観光局国際課〕
公表日：令和5年10月26日 公表周期：毎年
県の留学生支援施策の推進のための基礎資料を得ることを目的として毎年5月1日現在における、神奈川県内の大学等に在籍する外国人留学生の状況を調査しています。

注釈

4-24～4-26

1)2023年5月1日現在の値。

4-25

1)専修学校の所在する市町村ごとに集計している。

4-26

1)県内の大学等に在籍する留学生のうち、県内に居住している者の内訳である。

2)留学生の居住する市町村ごとに集計している。



かながわ Q&A

教育・子ども編

Q.1

県内市町村で教員1人当たりの幼稚園在園者数が最も多いのはどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 逗子市
- ② 海老名市
- ③ 葉山町

Q.2

県内市町村で幼保連携型認定こども園数が最も多いのは横浜市ですが、2番目はどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 川崎市
- ② 相模原市
- ③ 横須賀市

Q.3

県内市町村で保育士1人当たりの保育所入所児童数が最も多いのはどこ？
(2022年4月1日現在)

A.

- ① 厚木市
- ② 南足柄市
- ③ 大井町

Q.4

県内市町村で教員1人当たりの小学校児童数が最も多いのはどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 横浜市
- ② 平塚市
- ③ 藤沢市

Q.5

県内地域で中学校数が最も多いのは横浜地域ですが、2番目はどこ？
(2023年5月1日現在)

A.

- ① 川崎地域
- ② 湘南地域
- ③ 県央地域

Q.6

県内地域で大学等進学率が最も高いのはどこ？
(2023年3月)

A.

- ① 横浜地域
- ② 横須賀三浦地域
- ③ 湘南地域

Q.7

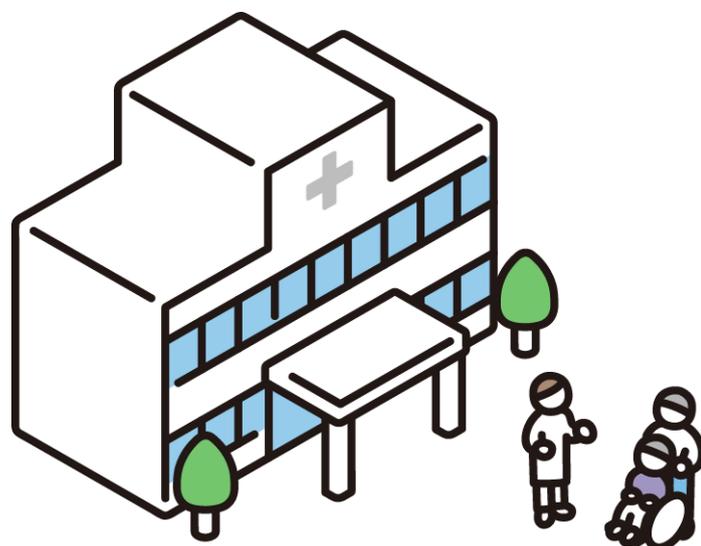
専修学校がある県内市町村はいくつ？
(2023年5月1日現在)

- ① 11市町村
- ② 13市町村
- ③ 15市町村

答えは81ページ ▶

5

安全・医療・福祉



5-01 / 5-02

出火件数 ▶▶▶ 1位 横浜市

出火件数(人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 中井町

指標 2022年の神奈川県の出火件数は1892件で、人口1万人当たりの出火件数は2.05件です。

県内市町村で出火件数が最も多いのは横浜市で638件、最も少ないのは清川村で1件です。

人口1万人当たりの出火件数が最も多いのは中井町で12.14件、最も少ないのは葉山町で0.95件です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県消防保安課調]
[神奈川県人口統計調査]

用語 出火件数

建物、林野、車両、船舶、航空機及びその他(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等)の火災の総件数をいいます。

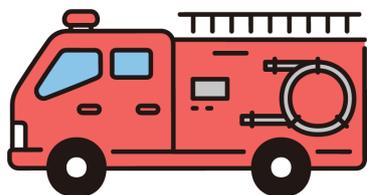
5-03

火災死傷者数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年の神奈川県火災死傷者数は342人です。内訳は死者50人、負傷者292人です。

県内市町村で火災死傷者数が最も多いのは横浜市で102人、次いで川崎市で69人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県消防保安課調]



統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版) [県統計センター]
公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年
神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

5-04 / 5-05

火災損害額 ▶▶▶ 1位 横浜市

火災損害額(1人当たり) ▶▶▶ 1位 厚木市

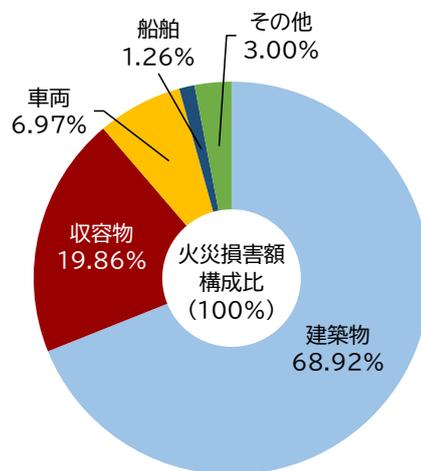
指標 2022年の神奈川県火災損害額は16億6924万3千円です。1人当たりの火災損害額は181.02円です。

県内市町村で火災損害額が最も大きいのは横浜市で4億4585万8千円です。1人当たりの火災損害額が最も大きいのは厚木市で1324.93円です。

県内地域別にみると、1人当たりの火災損害額が最も大きいのは県西地域で420.87円です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県消防保安課調]
[神奈川県人口統計調査]

神奈川県火災損害額の内訳(2022年)



この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県消防保安課調]

5-06

消防署数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県消防署数は288署です。

県内市町村で消防署数が最も多いのは横浜市で98署です。

なお、三浦市は横須賀市に、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町は小田原市に、寒川町は茅ヶ崎市に、真鶴町は湯河原町に、清川村は厚木市に消防事務を委託しています。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県消防保安課調]

用語 消防署数

ここでは、消防本部及び消防署とその出張所の合計をいいます。

市町村・地域名	出火件数		出火件数 (人口1万人当たり)		火災死傷者数		火災損害額		火災損害額 (1人当たり)		消防署数	
	2022年 5-01		2022年 5-02		2022年 5-03		2022年 5-04		2022年 5-05		2022年 5-06	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	1,892		2.05		342		1,669,243		181.02		288	
横浜市	638	1	1.69	29	102	1	445,858	1	118.32	18	98	1
川崎市	345	2	2.24	21	69	2	93,461	6	60.74	21	37	2
相模原市	166	3	2.29	20	37	3	105,897	4	145.99	16	22	3
横須賀市	82	5	2.16	24	20	4	83,964	8	220.67	11	16	4
平塚市	61	6	2.37	18	13	8	63,235	9	245.79	10	9	8
鎌倉市	27	13	1.56	30	4	11	10,604	19	61.41	20	9	8
藤沢市	95	4	2.15	25	15	5	19,488	15	44.14	24	16	4
小田原市	54	9	2.88	11	15	5	111,104	3	592.52	5	11	6
茅ヶ崎市	60	7	2.46	17	15	5	90,508	7	371.44	8	8	10
逗子市	11	20	1.94	26	3	14	53,708	10	945.18	3	4	15
三浦市	15	18	3.65	8	3	14	34,500	12	839.11	4	-	-
秦野市	41	10	2.54	15	7	10	25,117	13	155.39	13	6	11
厚木市	56	8	2.51	16	10	9	296,130	2	1,324.93	1	10	7
大和市	23	15	0.95	32	2	18	11,491	18	47.57	23	6	11
伊勢原市	27	13	2.67	12	4	11	105,132	5	1,039.69	2	4	15
海老名市	30	12	2.17	22	4	11	46,700	11	338.44	9	5	13
座間市	31	11	2.35	19	3	14	12,477	16	94.54	19	4	15
南足柄市	7	26	1.74	28	2	18	23,656	14	588.87	6	-	-
綾瀬市	22	16	2.64	13	3	14	12,300	17	147.82	14	4	15
葉山町	3	30	0.95	33	-	-	4,135	22	130.97	17	2	22
寒川町	14	19	2.88	10	2	18	2,894	24	59.64	22	-	-
大磯町	8	23	2.55	14	1	23	5,742	21	182.91	12	3	20
二宮町	3	30	1.10	31	1	23	-	-	-	-	2	22
中井町	11	20	12.14	1	-	-	255	27	28.13	26	-	-
大井町	8	23	4.66	6	1	23	35	30	2.04	30	-	-
松田町	5	27	4.74	5	-	-	100	29	9.48	29	-	-
山北町	10	22	10.52	2	2	18	231	28	24.31	28	-	-
開成町	4	28	2.16	23	1	23	2	31	0.11	31	-	-
箱根町	8	23	7.27	3	2	18	369	26	33.52	25	5	13
真鶴町	3	30	4.60	7	-	-	3,771	23	578.20	7	-	-
湯河原町	4	28	1.75	27	1	23	599	25	26.13	27	4	15
愛川町	19	17	4.82	4	-	-	5,780	20	146.54	15	3	20
清川村	1	33	3.35	9	-	-	-	-	-	-	-	-

横浜地域	638	1	1.69	6	102	1	445,858	2	118.32	5	98	1
川崎地域	345	3	2.24	3	69	2	93,461	6	60.74	6	37	4
横須賀三浦地域	138	5	2.02	5	30	5	186,911	4	273.79	3	31	5
県央地域	348	2	2.19	4	59	3	490,775	1	309.43	2	54	2
湘南地域	309	4	2.35	2	58	4	312,116	3	237.82	4	48	3
県西地域	114	6	3.42	1	24	6	140,122	5	420.87	1	20	6

5-01~5-06 県勢要覧2023(令和5年度版)

統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告 [県統計センター]
公表日:毎月末 公表周期:毎月
5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる出生、死亡、転入及び転出の月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。年に1度、年間集計結果を取りまとめています。

注釈

5-02

1)2022年の出火件数を、神奈川県人口統計調査の2022年4月1日現在の人口で除したものを。

5-05

1)2022年の火災損害額を、神奈川県人口統計調査の2022年4月1日現在の人口で除したものを。

5-06

1)2022年4月1日現在の値。

5-07 / 5-08

消防吏員数 ▶▶▶ 1位 横浜市
 消防吏員数(人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 箱根町

指標 2022年4月1日現在の神奈川県消防吏員数は1万146人で、人口1万人当たりの消防吏員数は11.00人です。

県内市町村で消防吏員が最も多いのは横浜市で3887人です。人口1万人当たりの消防吏員数が最も多いのは箱根町で90.84人です。

なお、三浦市は横須賀市に、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町は小田原市に、寒川町は茅ヶ崎市に、真鶴町は湯河原町に、清川村は厚木市に消防事務を委託しています。

この統計は [令和4年度版消防統計]
 [神奈川県人口統計調査]

用語 消防吏員

消防吏員とは、階級を有し、消火活動中の緊急措置等、消防法上の権限を有する者をいいます。

5-09

消防署出動回数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年の神奈川県消防署出動回数は58万3885回です。

県内市町村で消防署出動回数が最も多いのは横浜市で23万4610回です。

この統計は [令和4年度版消防統計]

用語 消防署、消防団の出動回数

火災のほか、風水害等の災害、救急業務、救助業務、演習訓練や警防調査等への出動回数の総計です。

統計情報 消防統計

令和4年度版消防統計 [県くらし安全防災局消防保安課]
 公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
 神奈川県内の消防防災に関する統計情報を取りまとめたものです。火災、消防業務、救急業務、消防職員・団員の実態、危険物等について取りまとめ、公表しています。

5-10

消防団員数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年4月1日現在の神奈川県消防団員数は1万7881人です。

県内市町村で消防団員数が最も多いのは横浜市で7868人、最も少ないのは真鶴町で72人です。

この統計は [令和4年度版消防統計]

用語 消防団

消防団は、普段は別の仕事などをしながら、消火・救助活動、防火啓発活動などを行う地域住民等で構成される市町村の消防機関です。

5-11

消防団出動回数 ▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2021年の神奈川県消防団出動回数は3万8873回です。

県内市町村で消防団出動回数が最も多いのは横浜市で2万6567回で、次いで相模原市が4599回、川崎市が1403回、大和市が1149回となっています。

この統計は [令和4年度版消防統計]

神奈川県の消防署・消防団出動回数の内訳(2021年)

区分	消防署 出動回数	消防団 出動回数
火災	1,862	1,833
風水害等の災害	692	91
演習訓練	13,719	10,961
救急業務	476,234	-
救助業務	4,552	28
広報指導	2,168	1,172
警防調査	13,152	80
火災調査	1,238	-
特別警戒	2,572	11,172
捜索	69	1
予防査察	23,372	-
その他	44,255	13,535
合計	583,885	38,873

この統計は [令和4年度版消防統計]

市町村・地域名	消防吏員数		消防吏員数 (人口1万人当たり)		消防署出動回数		消防団員数		消防団出動回数	
	2022年	5-07	2022年	5-08	2021年	5-09	2022年	5-10	2021年	5-11
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	10,146		11.00		583,885		17,881		38,873	
横浜市	3,887	1	10.31	21	234,610	1	7,868	1	26,567	1
川崎市	1,464	2	9.51	23	88,980	2	1,067	3	1,403	3
相模原市	775	3	10.68	20	44,324	3	1,348	2	4,599	2
横須賀市	492	4	11.67	15	32,362	4	800	4	545	7
平塚市	275	8	10.69	19	16,261	8	331	12	838	6
鎌倉市	255	10	14.77	9	16,282	7	400	9	961	5
藤沢市	484	5	10.96	18	27,435	5	445	7	285	13
小田原市	382	6	13.06	11	23,408	6	731	5	43	18
茅ヶ崎市	323	7	11.05	17	13,340	11	401	8	41	19
逗子市	94	18	16.54	6	4,435	16	119	28	6	31
三浦市	-		-		-		218	14	29	22
秦野市	203	12	12.56	14	9,995	12	372	10	20	25
厚木市	260	9	11.48	16	15,525	10	511	6	162	14
大和市	230	11	9.52	22	15,595	9	207	15	1,149	4
伊勢原市	130	16	12.86	13	5,799	15	336	11	50	16
海老名市	190	13	13.77	10	7,953	13	164	22	50	16
座間市	170	14	12.88	12	7,090	14	182	20	30	20
南足柄市	-		-		-		192	16	18	26
綾瀬市	136	15	16.34	7	4,383	17	152	25	129	15
葉山町	53	21	16.79	5	1,371	24	155	24	30	20
寒川町	-		-		2,782	20	169	21	6	31
大磯町	48	22	15.29	8	1,744	22	159	23	1	33
二宮町	47	23	17.26	4	1,675	23	76	32	441	8
中井町	-		-		-		125	27	10	28
大井町	-		-		-		106	29	309	12
松田町	-		-		-		131	26	13	27
山北町	-		-		-		186	18	9	29
開成町	-		-		-		90	30	341	10
箱根町	100	17	90.84	1	2,937	18	306	13	411	9
真鶴町	-		-		-		72	33	29	22
湯河原町	79	19	26.83	2	2,866	19	186	18	316	11
愛川町	69	20	17.49	3	2,733	21	192	16	23	24
清川村	-		-		-		84	31	9	29

横浜地域	3,887	1	10.31	5	234,610	1	7,868	1	26,567	1
川崎地域	1,464	4	9.51	6	88,980	3	1,067	6	1,403	6
横須賀三浦地域	894	5	13.10	2	54,450	5	1,692	5	1,571	4
県央地域	1,830	2	11.54	3	97,603	2	2,840	2	6,151	2
湘南地域	1,510	3	11.51	4	79,031	4	2,289	3	1,682	3
県西地域	561	6	16.85	1	29,211	6	2,125	4	1,499	5

5-07～5-11 令和4年度版消防統計

注釈

5-07、5-10

1)2022年4月1日現在の値。

5-08

1)2022年4月1日現在の消防吏員数を、神奈川県人口統計調査の2022年4月1日現在の人口で除したもの。

2)横須賀市は委託されている三浦市の人口を、小田原市は委託されている南足柄市と足柄上郡5町の人口を、茅ヶ崎市は委託されている寒川町の人口を、厚木市は委託されている清川村の人口を、湯河原町は委託されている真鶴町の人口をそれぞれ加算して除した。

5-09、5-11

1)2021年中の値。

5-12 / 5-13	
交通事故発生件数	▶▶▶ 1位 横浜市
交通事故発生件数(人口1000人当たり)	▶▶▶ 1位 箱根町

指標 2023年の神奈川県内の交通事故発生件数は2万1870件で、人口1000人当たりの交通事故発生件数は2.37件です。

県内市町村で交通事故発生件数が最も多いのは横浜市で7703件です。人口1000人当たりの交通事故発生件数が最も多いのは箱根町で7.07件、最も少ないのは秦野市で1.64件です。

この統計は [かながわの交通事故(令和5年統計)]
[神奈川県人口統計調査]

用語 交通事故

交通事故とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故をいいます。

5-14 / 5-15	
交通事故死傷者数	▶▶▶ 1位 横浜市
交通事故死傷者数(人口1000人当たり)	▶▶▶ 1位 箱根町

指標 2023年の神奈川県内の交通事故死傷者数は2万5759人です。

県内市町村で交通事故死傷者数が最も多いのは横浜市で8949人です。人口1000人当たりの交通事故死傷者数が最も多いのは箱根町で11.38人、最も少ないのは秦野市で1.89人です。

県内地域別にみると、人口1000人当たりの交通事故死傷者数が最も少ないのは川崎地域で2.03人です。

この統計は [かながわの交通事故(令和5年統計)]
[神奈川県人口統計調査]

用語 交通事故死傷者数

交通事故による死者数と負傷者数の合計です。交通事故死者とは、交通事故によって、発生から24時間以内に死亡した者をいいます。交通事故負傷者数とは、交通事故によって負傷した者をいい、1か月(30日)以上の治療を要する場合を重傷、1か月未満の治療を要する場合を軽傷としています。

統計情報 かながわの交通事故

かながわの交通事故(令和5年統計)
[県警察本部交通総務課]
公表日:令和6年4月9日 公表周期:毎年
神奈川県内で起きた交通事故の実態を統計的にまとめたものです。

5-16 / 5-17	
刑法犯認知件数	▶▶▶ 1位 横浜市
刑法犯認知件数(人口1000人当たり)	▶▶▶ 1位 大和市

指標 2023年の神奈川県内の刑法犯認知件数は4万3846件で、人口1000人当たりの刑法犯認知件数は4.75件です。

県内市町村で刑法犯認知件数が最も多いのは横浜市で1万6059件です。人口1000人当たりの刑法犯認知件数が最も多いのは大和市で7.35件で、最も少ないのは清川村で1.69件です。

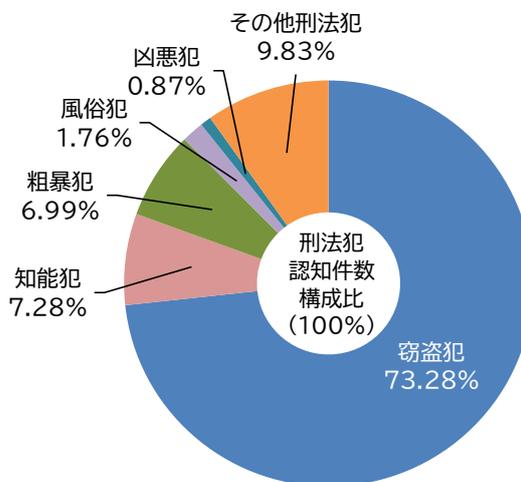
この統計は [犯罪統計資料(令和5年確定値)]
[神奈川県人口統計調査]

用語 刑法犯認知件数

犯罪統計上「刑法犯」として取り扱う罪は刑法に規定する罪(道路上の交通事故に係る第211条の罪を除く)及び爆発物取締罰則等に規定されている罪をいいます。

認知件数とは、警察において発生を認知した事件の数をいいます。

神奈川県の刑法犯認知件数 罪種別内訳(2023年)



※凶悪犯…殺人、強盗、放火、不同意性交等
粗暴犯…凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
窃盗犯…窃盗
知能犯…詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得処罰法、背任
風俗犯…賭博、わいせつ、性的姿態撮影等処罰法
その他…器物破壊等、住居侵入、その他の罪種

この統計は [犯罪統計資料(令和5年確定値)]

統計情報 犯罪統計資料

犯罪統計資料(令和5年確定値) [県警察本部刑事総務課]
公表日:令和6年2月19日 公表周期:毎年
神奈川県内の各種犯罪の認知件数や検挙件数等に関する統計です。
なお、全国の状況については、警察庁において、都道府県警察から報告された刑法犯の認知状況や検挙状況、特別法犯の検挙状況等をまとめて公表しています。

市町村・地域名	交通事故発生件数		交通事故発生件数 (人口1000人当たり)		交通事故死傷者数		交通事故死傷者数 (人口1000人当たり)		刑法犯認知件数		刑法犯認知件数 (人口1000人当たり)	
	2023年 5-12		2023年 5-13		2023年 5-14		2023年 5-15		2023年 5-16		2023年 5-17	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	21,870		2.37		25,759		2.79		43,846		4.75	
横浜市	7,703	1	2.04	30	8,949	1	2.37	29	16,059	1	4.26	19
川崎市	2,753	2	1.79	32	3,126	2	2.03	32	7,645	2	4.96	11
相模原市	1,992	3	2.74	19	2,321	3	3.20	18	4,250	3	5.85	6
横須賀市	1,130	5	2.98	15	1,333	5	3.52	14	1,505	7	3.97	23
平塚市	813	6	3.16	13	946	6	3.67	13	1,546	6	6.00	3
鎌倉市	483	10	2.81	17	562	10	3.27	16	645	13	3.75	25
藤沢市	1,155	4	2.60	21	1,341	4	3.02	24	2,101	4	4.73	15
小田原市	533	9	2.85	16	606	9	3.24	17	928	10	4.96	12
茅ヶ崎市	467	11	1.91	31	533	11	2.18	31	1,029	9	4.21	20
逗子市	145	18	2.57	22	176	18	3.12	21	276	18	4.89	13
三浦市	135	19	3.31	8	169	19	4.14	6	167	20	4.09	21
秦野市	265	15	1.64	33	305	15	1.89	33	651	12	4.03	22
厚木市	620	8	2.77	18	715	8	3.19	19	1,262	8	5.64	8
大和市	661	7	2.72	20	746	7	3.07	23	1,787	5	7.35	1
伊勢原市	228	16	2.25	27	279	16	2.76	26	399	16	3.94	24
海老名市	448	12	3.21	10	516	12	3.70	12	837	11	6.00	4
座間市	399	13	3.02	14	447	13	3.38	15	643	14	4.87	14
南足柄市	82	22	2.04	29	92	25	2.29	30	147	21	3.66	27
綾瀬市	278	14	3.34	7	324	14	3.89	9	430	15	5.17	10
葉山町	110	20	3.50	5	126	20	4.01	8	98	25	3.12	30
寒川町	157	17	3.23	9	181	17	3.73	11	303	17	6.24	2
大磯町	78	23	2.50	24	96	23	3.07	22	99	24	3.17	29
二宮町	69	27	2.55	23	85	26	3.14	20	101	23	3.73	26
中井町	29	31	3.20	11	34	31	3.75	10	54	28	5.95	5
大井町	71	26	4.13	3	84	27	4.88	3	74	26	4.30	18
松田町	35	30	3.34	6	51	29	4.87	4	56	27	5.35	9
山北町	40	29	4.28	2	55	28	5.88	2	33	31	3.53	28
開成町	46	28	2.45	25	50	30	2.67	27	109	22	5.82	7
箱根町	77	24	7.07	1	124	21	11.38	1	48	29	4.41	17
真鶴町	14	32	2.16	28	17	32	2.63	28	14	32	2.16	31
湯河原町	72	25	3.16	12	93	24	4.08	7	45	30	1.97	32
愛川町	96	21	2.44	26	110	22	2.79	25	182	19	4.62	16
清川村	11	33	3.71	4	13	33	4.39	5	5	33	1.69	33

横浜地域	7,703	1	2.04	5	8,949	1	2.37	5	16,059	1	4.26	5
川崎地域	2,753	4	1.79	6	3,126	4	2.03	6	7,645	3	4.96	2
横須賀三浦地域	2,003	5	2.95	2	2,366	5	3.48	2	2,691	5	3.96	6
県央地域	4,505	2	2.83	3	5,192	2	3.26	3	9,396	2	5.91	1
湘南地域	3,232	3	2.46	4	3,766	3	2.86	4	6,229	4	4.73	3
県西地域	999	6	3.01	1	1,206	6	3.63	1	1,508	6	4.54	4

5-12～5-15 かながわの交通事故(令和5年統計)、5-16～5-17 犯罪統計資料(令和5年確定値)

注釈

5-12～5-17

1)2023年中の値。

5-12、5-14

1)神奈川県には、市町村で発生した事故のほか、高速道路等で発生した交通事故件数も含まれており、市町村計と一致しない。

5-13

1)2023年の交通事故発生件数を、神奈川県人口統計調査の2023年1月1日現在の人口で除したもの。

5-15

1)2023年の交通事故死傷者数を、神奈川県人口統計調査の2023年1月1日現在の人口で除したもの。

5-17

1)2023年の刑法犯認知件数を、神奈川県人口統計調査の2023年1月1日現在の人口で除したもの。

病院数 ▶▶▶ 1位 横浜市 5-18

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の実業数336施設です。

県内市町村で病院数が最も多いのは横浜市で132施設、次いで川崎市が39施設です。

この統計は [令和4(2022)年医療施設(動態)調査]

用語 病院

医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するものをいいます。

病院病床数(人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村 5-19

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の実業数1万人当たり病院病床数は79.89床です。

県内市町村で人口1万人当たり病院病床数が最も多いのは清川村で1090.24床です。

県内地域別にみると、人口1万人当たり病院病床数が最も多いのは県西地域で114.36床です。

この統計は [令和4(2022)年医療施設(動態)調査]
[神奈川県人口統計調査]

一般診療所数 ▶▶▶ 1位 横浜市 5-20

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の実業数7093施設です。

県内市町村で一般診療所数が最も多いのは横浜市で3148施設です。

この統計は [令和4(2022)年医療施設(動態)調査]

用語 一般診療所

医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く。)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するものをいいます。

統計情報 医療施設(動態)調査

令和4(2022)年医療施設(動態)調査[厚生労働省]
公表日:令和5年9月26日 公表周期:毎年
全国の医療施設(病院・診療所)の数や病床数、診療科目などの動向を把握するため、医療施設から提出された開設・廃止などの申請・届出に基づく、都道府県・保健所設置市・特別区からの毎月の報告を集計したものです。

医師数(人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 伊勢原市 5-21

指標 2022年12月31日現在の神奈川県の実業数1万人当たりの医療施設に従事する医師数は、22.30人です。

県内市町村で人口1万人当たりの医療施設に従事する医師数が最も多いのは伊勢原市で70.15人、最も少ないのは真鶴町で1.54人です。

この統計は [令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計]
[神奈川県人口統計調査]

用語 医療施設に従事する医師数

医療施設に従事する医師数とは、医師法第6条第3項により届け出た医師で、医療施設に従事する者の数をいいます。なお、この数は従業地別の数値であり、歯科医師を含んでいません。

歯科診療所数 ▶▶▶ 1位 横浜市 5-22

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の実業数4983施設です。

県内市町村で歯科診療所数が最も多いのは横浜市で2124施設です。

この統計は [令和4(2022)年医療施設(動態)調査]

用語 歯科診療所

歯科医師が歯科医業を行う場所であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するものをいいます。

歯科医師数(人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 横須賀市 5-23

指標 2022年12月31日現在の神奈川県の実業数1万人当たりの医療施設に従事する歯科医師数は7.74人です。

県内市町村で人口1万人当たりの医療施設に従事する歯科医師数が最も多いのは横須賀市で13.11人です。

この統計は [令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計]
[神奈川県人口統計調査]

用語 医療施設に従事する歯科医師数

医療施設に従事する歯科医師数とは、歯科医師法第6条第3項により届け出た歯科医師で、医療施設に従事する者の数をいいます。なお、この数は従業地別の数値です。

市町村・地域名	病院数		病院病床数 (人口1万人当たり)		一般診療所数		医師数 (人口1万人当たり)		歯科診療所数		歯科医師数 (人口1万人当たり)	
	2022年	5-18	2022年	5-19	2022年	5-20	2022年	5-21	2022年	5-22	2022年	5-23
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	施設 336		床 79.89		施設 7,093		人 22.30		施設 4,983		人 7.74	
横浜市	132	1	74.10	17	3,148	1	23.26	7	2,124	1	8.66	5
川崎市	39	2	71.07	19	1,070	2	23.85	5	766	2	6.15	16
相模原市	35	3	96.08	14	444	3	23.51	6	363	3	6.80	13
横須賀市	12	6	83.28	16	306	5	21.14	9	212	5	13.11	1
平塚市	9	9	90.14	15	195	6	19.13	13	139	7	6.91	12
鎌倉市	12	6	121.56	9	178	8	37.58	3	131	8	8.41	6
藤沢市	16	4	72.12	18	428	4	22.48	8	283	4	9.29	4
小田原市	13	5	115.24	10	153	10	21.14	10	108	10	7.37	8
茅ヶ崎市	7	12	63.66	23	163	9	16.06	17	129	9	6.47	15
逗子市	2	17	23.49	28	72	14	12.37	20	43	16	11.66	2
三浦市	2	17	133.36	6	30	18	15.63	18	20	18	7.33	9
秦野市	8	11	132.88	7	101	13	12.74	19	78	12	6.74	14
厚木市	12	6	122.54	8	153	10	18.25	14	103	11	5.49	22
大和市	9	9	66.22	22	180	7	16.85	15	145	6	6.06	17
伊勢原市	3	15	133.78	5	66	15	70.15	1	50	15	9.57	3
海老名市	4	13	69.59	20	104	12	19.30	12	57	14	7.25	10
座間市	4	13	68.47	21	62	16	9.61	23	62	13	3.78	28
南足柄市	2	17	99.03	13	23	19	11.45	21	16	21	4.73	27
綾瀬市	1	21	20.16	29	32	17	6.60	30	27	17	2.88	30
葉山町	1	21	28.32	26	16	26	7.00	28	16	21	5.41	25
寒川町	2	17	58.19	24	22	20	8.43	25	17	19	5.55	20
大磯町	1	21	99.51	11	18	24	20.41	11	15	23	5.42	24
二宮町	-	-	-	-	22	20	8.85	24	17	19	5.90	18
中井町	1	21	24.18	27	9	28	7.69	26	4	30	5.50	21
大井町	1	21	17.42	30	11	27	6.97	29	7	27	7.55	7
松田町	1	21	282.52	2	9	28	63.00	2	5	29	5.73	19
山北町	-	-	-	-	6	31	5.33	32	3	31	3.20	29
開成町	1	21	165.98	4	18	24	10.17	22	9	26	6.96	11
箱根町	1	21	99.29	12	8	30	7.29	27	6	28	5.47	23
真鶴町	-	-	-	-	2	32	1.54	33	2	32	1.54	32
湯河原町	3	15	210.46	3	21	22	16.63	16	14	24	5.25	26
愛川町	1	21	38.06	25	21	22	5.58	31	11	25	1.78	31
清川村	1	21	1,090.24	1	2	32	26.84	4	1	33	-	-

横浜地域	132	1	74.10	5	3,148	1	23.26	3	2,124	1	8.66	2
川崎地域	39	4	71.07	6	1,070	2	23.85	1	766	3	6.15	5
横須賀三浦地域	29	5	88.47	2	602	5	23.59	2	422	5	11.10	1
県央地域	67	2	87.09	3	998	4	18.90	5	769	2	5.95	6
湘南地域	46	3	84.95	4	1,015	3	22.26	4	728	4	7.71	3
県西地域	23	6	114.36	1	260	6	17.97	6	174	6	6.49	4

5-18~5-20、5-22 令和4(2022)年医療施設(動態)調査、5-21、5-23 令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計

統計情報 医師・歯科医師・薬剤師統計

令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計
 [厚生労働省]
 公表日:令和6年3月19日 公表周期:2年ごと
 医師法・歯科医師法・薬剤師法に基づき、医師・歯科医師・薬剤師が厚生労働大臣に2年に1度届け出た各届出票を集計の対象とし、取りまとめたものです。

注釈

- 5-18、5-20、5-22
1)2022年10月1日現在の値。
- 5-19
1)2022年10月1日現在の病院病床数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したものを。
- 5-21
1)2022年12月31日現在の医師数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したものを。
- 5-23
1)2022年12月31日現在の歯科医師数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したものを。

5-24
看護師・准看護師数(人口1万人当たり)
 ▶▶▶ **1位 清川村**

指標 2022年12月31日現在の神奈川県的人口1万人当たりの看護師・准看護師数は89.26人です。
 県内市町村で人口1万人当たりの看護師・准看護師数が最も多いのは清川村で285.14人、最も少ないのは真鶴町で9.22人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県医療課調]
 [神奈川県人口統計調査]

5-25
薬局数 ▶▶▶ **1位 横浜市**

指標 2022年度末日現在の神奈川県薬局数は4156施設です。
 県内市町村で薬局数が最も多いのは横浜市で1681施設です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県薬務課調]

5-26
薬剤師数(人口1万人当たり) ▶▶▶ **1位 開成町**

指標 2022年12月31日現在の神奈川県的人口1万人当たりの薬局に就く薬剤師数は17.43人です。
 県内市町村で人口1万人当たりの薬局に就く薬剤師数が最も多いのは開成町で21.95人です。

この統計は [令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計]
 [神奈川県人口統計調査]

用語 薬剤師数

薬局に従事する薬剤師とは、薬剤師法第9条により届け出た薬剤師で、薬局に従事する者の数をいいます。なお、この数は従業地別の数値です。

5-27
保健師数(人口1万人当たり) ▶▶▶ **1位 清川村**

指標 2022年12月31日現在の神奈川県的人口1万人当たりの保健師数は3.10人です。
 県内市町村で人口1万人当たりの保健師数が最も多いのは清川村で13.42人、最も少ないのは座間市で2.04人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県医療課調]
 [神奈川県人口統計調査]

5-28
助産師数(人口1万人当たり) ▶▶▶ **1位 伊勢原市**

指標 2022年12月31日現在の神奈川県的人口1万人当たりの助産師数は2.70人です。
 県内市町村で人口1万人当たりの助産師数が最も多いのは伊勢原市で7.10人です。

この統計は [県勢要覧2023(令和5年度版) 県医療課調]
 [神奈川県人口統計調査]

5-29
実績医療費(市町村国民健康保険)(1人当たり)
 ▶▶▶ **1位 清川村**

指標 2021年度の神奈川県1人当たりの実績医療費(市町村国民健康保険)は36万9707円です。
 県内市町村で1人当たりの実績医療費(市町村国民健康保険)が最も多いのは清川村で42万352円、最も少ないのは大井町で31万1055円です。

この統計は [令和3年度(2021年度)医療費の地域差分析]

用語 実績医療費(市町村国民健康保険)

実績医療費(市町村国民健康保険)は、当年3月～翌年2月の市町村国民健康保険の加入者に係る医療費と、市町村国民健康保険の被保険者数の当年3月～翌年2月の年度平均値から算出しています。

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)
 [県統計センター]
 公表日:令和6年3月 公表周期:毎年
 神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

統計情報 医師・歯科医師・薬剤師統計

令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計
 [厚生労働省]
 公表日:令和6年3月19日 公表周期:2年ごと
 医師法・歯科医師法・薬剤師法に基づき、医師・歯科医師・薬剤師が厚生労働大臣に2年に1度届け出た各届出票を集計の対象とし、取りまとめたものです。

統計情報 医療費の地域差分析

令和3年度(2021年度)医療費の地域差分析
 [厚生労働省]
 公表日:令和5年12月28日 公表周期:毎年
 市町村国民健康保険と後期高齢者医療制度の医療費及び国民医療費の地域差について分析したものです。

市町村・地域名	看護師・ 准看護師数 (人口1万人当たり)		薬局数		薬剤師数 (人口1万人当たり)		保健師数 (人口1万人当たり)		助産師数 (人口1万人当たり)		実績医療費 (市町村国民健康保険) (1人当たり)	
	2022年	5-24	2022年	5-25	2022年	5-26	2022年	5-27	2022年	5-28	2021年	5-29
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	89.26		4,156		17.43		3.10		2.70		369,707	
横浜市	89.47	13	1,681	1	18.41	7	3.13	22	2.68	9	375,224	17
川崎市	85.94	16	640	2	17.33	9	2.41	31	2.78	8	363,315	21
相模原市	101.57	9	338	3	17.78	8	3.29	21	2.66	11	359,331	24
横須賀市	101.37	10	192	5	16.17	14	2.37	32	3.16	4	394,660	9
平塚市	87.73	14	131	6	15.40	17	3.34	20	2.99	5	378,503	15
鎌倉市	119.47	4	95	11	20.82	2	4.29	13	5.22	2	354,737	27
藤沢市	86.12	15	228	4	20.48	3	2.77	30	2.66	10	347,477	30
小田原市	104.25	7	105	8	19.27	5	3.63	16	2.94	6	404,226	7
茅ヶ崎市	71.57	21	101	9	15.61	16	2.91	28	4.30	3	352,829	28
逗子市	41.34	27	29	16	19.08	6	3.36	19	1.24	15	391,763	11
三浦市	116.99	5	21	17	14.41	19	4.88	9	0.73	22	369,383	18
秦野市	89.70	12	70	12	12.31	24	3.03	24	0.80	20	368,172	19
厚木市	103.75	8	98	10	13.30	21	4.28	14	2.86	7	356,985	26
大和市	71.99	20	115	7	16.85	11	3.13	23	2.55	13	346,483	31
伊勢原市	185.67	3	49	15	20.22	4	4.74	10	7.10	1	390,331	12
海老名市	77.77	18	52	13	17.15	10	2.94	27	2.58	12	351,734	29
座間市	58.03	22	51	14	12.79	22	2.04	33	0.76	21	362,833	22
南足柄市	56.23	24	16	21	14.68	18	5.47	8	0.50	23	397,343	8
綾瀬市	39.00	28	19	18	6.84	31	3.00	25	1.80	14	359,233	25
葉山町	36.27	30	11	25	11.77	25	4.45	12	0.95	18	342,046	32
寒川町	55.52	25	15	22	12.34	23	3.70	15	1.03	17	362,167	23
大磯町	56.77	23	17	19	16.27	12	3.51	17	0.32	25	379,481	14
二宮町	31.71	31	15	22	16.22	13	2.95	26	0.37	24	367,103	20
中井町	76.94	19	4	31	7.69	29	9.89	2	1.10	16	404,446	6
大井町	54.59	26	7	27	10.45	26	4.65	11	-	-	311,055	33
松田町	241.48	2	5	28	14.32	20	8.59	3	-	-	392,875	10
山北町	20.26	32	5	28	9.60	27	7.47	6	-	-	418,950	2
開成町	89.95	11	12	24	21.95	1	8.57	4	-	-	417,827	4
箱根町	78.34	17	5	28	6.38	32	7.29	7	-	-	410,884	5
真鶴町	9.22	33	2	32	9.22	28	7.68	5	-	-	418,764	3
湯河原町	111.57	6	10	26	15.75	15	3.50	18	0.88	19	377,542	16
愛川町	37.30	29	17	19	7.61	30	2.79	29	0.25	26	385,093	13
清川村	285.14	1	-	-	-	-	13.42	1	-	-	420,352	1

横浜地域	89.47	3	1,681	1	18.41	1	3.13	5	2.68	4		
川崎地域	85.94	6	640	3	17.33	2	2.41	6	2.78	3		
横須賀三浦地域	98.90	1	348	5	17.28	3	3.19	3	3.27	1		
県央地域	87.14	5	690	2	15.68	6	3.26	2	2.40	5		
湘南地域	88.90	4	626	4	17.07	4	3.15	4	2.98	2		
県西地域	94.07	2	171	6	16.80	5	4.81	1	1.80	6		

5-24~5-25、5-27~5-28 県勢要覧2023(令和5年度版)、5-26 令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計、5-29 令和3年度(2021年度)医療費の地域差分析

注釈

5-24

1)2022年12月31日現在の看護師・准看護師数の計を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したもの。

5-25

1)2023年3月31日現在の値。

5-26

1)2022年12月31日現在の薬剤師数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したもの。

5-27

1)2022年12月31日現在の保健師数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したもの。

5-28

1)2022年12月31日現在の助産師数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したもの。

5-30

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)数
▶▶▶ 1位 横浜市

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の特養養護老人ホーム(介護老人福祉施設)数は446施設です。

県内市町村で特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)数が最も多いのは横浜市で162施設です。

この統計は [令和4年介護サービス施設・事業所調査]

用語 介護老人福祉施設

介護老人福祉施設とは、老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム(入所定員が30人以上であるものに限る。)で、かつ、介護保険法による都道府県知事の指定を受けた施設であって、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことを目的とする施設をいいます。

5-31

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)
定員数(65歳以上人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 箱根町

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の特養養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の定員数は16.73人です。

65歳以上人口1000人当たりの特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の定員数が最も多いのは箱根町で40.77人、次いで中井町が30.23人です。

この統計は [令和4年介護サービス施設・事業所調査]
[神奈川県年齢別人口統計調査]

統計情報 介護サービス施設・事業所調査

令和4年介護サービス施設・事業所調査 [厚生労働省]
公表日:令和6年1月12日 公表周期:毎年
全国の介護サービスの提供体制、提供内容等を把握することにより、介護サービスの提供面に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることを目的として、毎年10月1日現在の状況について調査を実施しています。

統計情報 社会福祉施設等調査

令和4年社会福祉施設等調査 [厚生労働省]
公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
全国の社会福祉施設等の数、在り者、従事者の状況等を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料を得ることを目的として、毎年10月1日現在の状況について調査を実施しています。

5-32 / 5-33

有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅以外)数
▶▶▶ 1位 横浜市

有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅以外)数
(65歳以上人口1万人当たり) ▶▶▶ 1位 湯河原町

指標 2022年10月1日現在の神奈川県の有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅以外)数は1119施設で、65歳以上人口1万人当たりの施設数は4.81施設です。

県内市町村で有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅以外)数が最も多いのは横浜市で330施設です。65歳以上人口1万人当たりの施設数が最も多いのは湯河原町で8.04施設です。

この統計は [令和4年社会福祉施設等調査]
[神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 有料老人ホーム

老人を入所させ、入浴、排せつ若しくは食事の介護、食事の提供又はその他日常生活に必要な便宜を供与する施設をいいます。サービス付き高齢者向け住宅以外のものと、サービス付き高齢者向け住宅であるもの(60歳以上の高齢者等を入居させ、状況把握サービス、生活相談サービス等の高齢者が日常生活を営むために必要な福祉サービスを提供する賃貸住宅等)があります。

5-34

要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)数
(65歳以上人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 逗子市

指標 2022年度の神奈川県の特養養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の定員数は16.73人です。

県内市町村で65歳以上人口1000人当たりの要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)数が最も多いのは逗子市で238.66人、最も少ないのは清川村で127.60人です。

この統計は [令和4年度介護保険事業状況報告]
[神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)

介護保険制度においては、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態(要介護状態)になった場合や、家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態(要支援状態)になった場合に、介護サービスを受けるためには、市町村から要介護(要支援)認定を受ける必要があります。

また、介護保険制度の被保険者は、第1号被保険者(65歳以上の者)、第2号被保険者(40歳以上65歳未満の医療保険加入者)となっています。

市町村・地域名	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)数		特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設) 定員数 (65歳以上人口1000人当たり)		有料老人ホーム (サービス付き高齢 者向け住宅以外)数		有料老人ホーム (サービス付き高齢 者向け住宅以外)数 (65歳以上人口1万人当たり)		要介護(要支援) 認定者(第1号 被保険者)数 (65歳以上人口1000人当たり)	
	2022年	5-30	2022年	5-31	2022年	5-32	2022年	5-33	2022年	5-34
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	施設 446		人 16.73		施設 1,119		施設 4.81		人 188.22	
横浜市	162	1	18.35	6	330	1	3.56	23	193.39	7
川崎市	71	2	16.26	14	231	2	7.61	3	198.07	5
相模原市	43	3	17.36	10	128	3	6.83	5	186.03	12
横須賀市	21	4	17.70	9	51	5	4.10	19	192.03	8
平塚市	14	6	16.96	11	40	6	5.47	10	168.09	20
鎌倉市	11	9	16.90	12	30	8	5.65	9	214.68	2
藤沢市	17	5	14.29	20	67	4	6.23	6	196.10	6
小田原市	10	11	15.98	15	28	9	4.93	13	177.51	14
茅ヶ崎市	12	7	12.05	25	23	10	3.51	24	175.24	16
逗子市	4	17	15.63	17	8	18	4.50	16	238.66	1
三浦市	5	16	19.67	4	12	16	7.07	4	201.23	3
秦野市	7	13	12.73	23	17	12	3.45	25	149.93	30
厚木市	11	9	13.46	22	31	7	5.33	11	155.22	27
大和市	12	7	14.72	19	21	11	3.68	22	188.98	11
伊勢原市	6	14	11.87	26	16	13	5.97	8	163.97	25
海老名市	9	12	18.09	8	13	15	3.80	21	165.35	24
座間市	6	14	15.32	18	16	13	4.71	15	174.72	17
南足柄市	2	21	7.42	30	7	21	5.19	12	166.51	22
綾瀬市	3	18	10.25	27	11	17	4.74	14	168.04	21
葉山町	2	21	15.87	16	8	18	7.93	2	190.61	9
寒川町	3	18	12.51	24	6	22	4.49	17	162.40	26
大磯町	2	21	13.76	21	3	23	2.75	28	172.74	18
二宮町	1	27	10.07	28	3	23	3.08	27	180.37	13
中井町	1	27	30.23	2	2	25	6.05	7	146.17	31
大井町	1	27	9.99	29	2	25	4.00	20	138.69	32
松田町	1	27	19.11	5	1	29	2.73	29	166.44	23
山北町	2	21	27.45	3	-	-	-	-	198.09	4
開成町	-	-	-	-	2	25	4.12	18	154.13	29
箱根町	2	21	40.77	1	1	29	2.46	30	189.01	10
真鶴町	-	-	-	-	1	29	3.43	26	177.22	15
湯河原町	2	21	18.10	7	8	18	8.04	1	171.89	19
愛川町	3	18	16.32	13	2	25	1.65	31	155.11	28
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	127.60	33
横浜地域	162	1	18.35	1	330	1	3.56	6	193.39	3
川崎地域	71	3	16.26	3	231	2	7.61	1	198.07	2
横須賀三浦地域	43	5	17.41	2	109	5	4.90	4	201.80	1
県央地域	87	2	15.84	4	222	3	5.45	2	177.25	4
湘南地域	62	4	13.83	6	175	4	4.91	3	175.30	5
県西地域	21	6	15.57	5	52	6	4.82	5	172.55	6

5-30~5-31 令和4年介護サービス施設・事業所調査、5-32~5-33 令和4年社会福祉施設等調査、5-34 令和4年度介護保険事業状況報告

統計情報 介護保険事業状況報告

令和4年度介護保険事業状況報告
[厚生労働省]
公表日:令和6年8月30日 公表周期:毎年
介護保険事業の実施状況について、保険
者(市町村等)からの報告数値を全国集計し
たものです。

注釈

5-30、5-32

1)2022年10月1日現在の値。

5-31

1)2022年10月1日現在の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)定員数を、神奈川県年齢別人口統計調査の2022年1月1日現在の65歳以上人口で除したものを。

5-33

1)2022年10月1日現在の有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅以外)数を、神奈川県年齢別人口統計調査の2022年1月1日現在の65歳以上人口で除したものを。

5-34

1)2022年度の要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)数を、神奈川県年齢別人口統計調査の2023年1月1日現在の65歳以上人口で除したものを。

5-35 / 5-36

障害福祉サービス等事業所数
 ▶▶▶ 1位 横浜市
 障害福祉サービス等事業所数(人口1万人当たり)
 ▶▶▶ 1位 秦野市

指標 2022年10月1日現在の神奈川県障害福祉サービス等事業所数は7517事業所で、人口1万人当たりの事業所数は8.14事業所です。

県内市町村で障害福祉サービス等事業所数が最も多いのは横浜市で3052事業所です。人口1万人当たりの事業所数が最も多いのは秦野市で11.32事業所です。

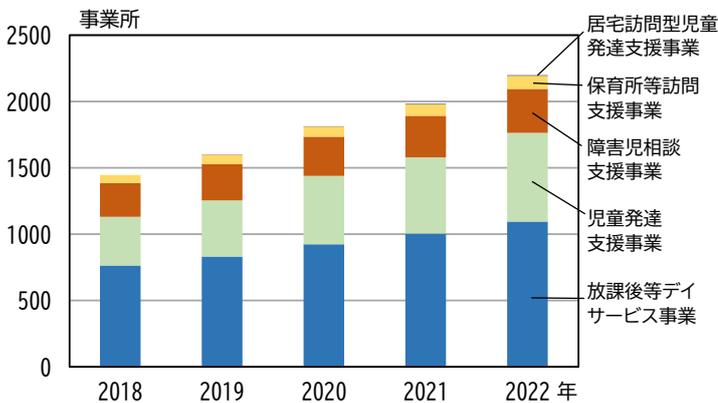
この統計は [令和4年社会福祉施設等調査]
 [神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 障害福祉サービス等事業所

障害福祉サービス等事業所とは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)による障害福祉サービス事業所及び相談支援事業所です。

具体的には、居宅介護事業、重度訪問介護事業、計画相談支援事業、共同生活援助事業、就労継続支援事業等を行う事業所です。

神奈川県障害児通所支援等事業所数の推移



この統計は [社会福祉施設等調査(平成30～令和4年)]

統計情報 社会福祉施設等調査

令和4年社会福祉施設等調査[厚生労働省]
 公表日:令和5年12月20日 公表周期:毎年
 全国の社会福祉施設等の数、在籍者、従事者の状況等を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料を得ることを目的として、毎年10月1日現在の状況について調査を実施しています。

5-37 / 5-38

障害児通所支援等事業所数
 ▶▶▶ 1位 横浜市
 障害児通所支援等事業所数(18歳未満人口1万人当たり)
 ▶▶▶ 1位 湯河原町

指標 2022年10月1日現在の神奈川県障害児通所支援等事業所数は2198事業所で、18歳未満人口1万人当たりの事業所数は16.93事業所です。

県内市町村で障害児通所支援等事業所数が最も多いのは横浜市で747事業所です。18歳未満人口1万人当たりの事業所数が最も多いのは湯河原町で33.16事業所です。

この統計は [令和4年社会福祉施設等調査]
 [神奈川県年齢別人口統計調査]

用語 障害児通所支援等事業所

障害児通所支援等事業所とは、児童福祉法(昭和22年法律第164号)による障害児通所支援事業所及び障害児相談支援事業所です。

具体的には、以下の事業を行う事業所です。

- ・児童発達支援
 日常生活における基本的な動作を習得したり、集団生活に適應するための訓練など個別の療育プログラムを個別支援計画に基づき提供します。未就学の障害児及び学籍のない18歳未満の障害児が対象です。
- ・放課後等デイサービス
 学校授業終了後または休業日に、生活能力の向上のために必要な支援や余暇の提供などを個別支援計画に基づき提供します。学校教育法に規定する学校(幼稚園、大学を除く)に就学している障害児が対象です。
- ・保育所等訪問支援
 保育所、幼稚園、小学校等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適應のための専門的な支援などを行います。
- ・居宅訪問型児童発達支援
 重度の障害等の状態にある障害児であって、障害児通所支援を利用するために外出することが著しく困難な障害児に発達支援が提供できるよう、障害児の居宅を訪問して発達支援を行います。
- ・障害児相談支援
 相談支援専門員が、障害児通所支援を利用する障害児に対し、サービスの利用調整や利用状況の確認(事業所訪問)、サービスについての情報提供などの必要な支援を行います。

市町村・地域名	障害福祉サービス等 事業所数		障害福祉サービス等 事業所数 (人口1万人当たり)		障害児通所支援等 事業所数		障害児通所支援等 事業所数 (18歳未満人口1万人当たり)	
	2022年 5-35		2022年 5-36		2022年 5-37		2022年 5-38	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	事業所 7,517		事業所 8.14		事業所 2,198		事業所 16.93	
横浜市	3,052	1	8.09	14	747	1	14.14	23
川崎市	1,037	2	6.73	23	395	2	17.77	15
相模原市	772	3	10.63	2	243	3	24.63	4
横須賀市	310	5	8.16	11	75	6	15.14	21
平塚市	221	6	8.58	10	73	7	20.64	8
鎌倉市	173	12	10.03	6	50	11	21.09	7
藤沢市	361	4	8.14	12	107	4	15.57	20
小田原市	190	9	10.14	4	37	12	14.93	22
茅ヶ崎市	175	11	7.17	21	64	9	17.08	17
逗子市	44	17	7.77	17	15	17	19.52	13
三浦市	30	20	7.33	20	6	21	13.99	24
秦野市	183	10	11.32	1	54	10	25.28	3
厚木市	206	7	9.19	7	82	5	26.16	2
大和市	196	8	8.08	15	70	8	20.08	9
伊勢原市	105	14	10.36	3	34	15	24.44	6
海老名市	98	15	7.03	22	36	13	16.95	18
座間市	117	13	8.85	8	36	13	20.01	10
南足柄市	32	19	7.96	16	2	27	3.71	30
綾瀬市	50	16	6.00	27	17	16	13.09	25
葉山町	16	24	5.09	29	3	25	6.21	28
寒川町	36	18	7.40	19	12	18	16.06	19
大磯町	17	23	5.42	28	4	24	9.19	27
二宮町	22	22	8.11	13	6	21	17.37	16
中井町	6	28	6.59	24	—		—	
大井町	1	31	0.58	32	1	29	3.94	29
松田町	9	27	8.59	9	3	25	24.47	5
山北町	2	30	2.13	30	2	27	19.74	11
開成町	14	25	7.50	18	6	21	18.33	14
箱根町	1	31	0.91	31	1	29	12.20	26
真鶴町	—		—		—		—	
湯河原町	14	25	6.13	25	7	20	33.16	1
愛川町	24	21	6.09	26	10	19	19.62	12
清川村	3	29	10.06	5	—		—	

横浜地域	3,052	1	8.09	4	747	1	14.14	5
川崎地域	1,037	4	6.73	6	395	3	17.77	3
横須賀三浦地域	573	5	8.41	3	149	5	16.55	4
県央地域	1,466	2	9.22	1	494	2	22.20	1
湘南地域	1,120	3	8.51	2	354	4	18.43	2
県西地域	269	6	8.08	5	59	6	13.80	6

5-35～5-38 令和4年社会福祉施設等調査

注釈

5-35、5-37

1)2022年10月1日現在の値。

5-36

1)2022年10月1日現在の障害福祉サービス等事業所数を、神奈川県人口統計調査の2022年10月1日現在の人口で除したもの。

5-38

1)2022年10月1日現在の障害児通所支援等事業所数を、神奈川県年齢別人口統計調査の2022年1月1日現在の18歳未満人口で除したもの。



かながわ Q&A

安全・医療・福祉編

Q.1 県内市町村で人口1万人当たりの出火件数が最も少ないのはどこ？(2022年)

- A. ① 鎌倉市
② 葉山町
③ 南足柄市

Q.2 県内市町村で消防団の出動回数が最も多いのは横浜市ですが、2番目はどこ？(2021年)

- A. ① 相模原市
② 藤沢市
③ 川崎市

Q.3 県内市町村で人口1000人当たりの交通事故発生件数が最も少ないのはどこ？(2023年)

- A. ① 秦野市
② 大磯町
③ 二宮町

Q.4 県内市町村で人口1万人当たりの医療施設に従事する医師数が最も多いのはどこ？(2022年12月31日現在)

- A. ① 小田原市
② 海老名市
③ 伊勢原市

Q.5 県内市町村で人口1万人当たりの薬局に従事する薬剤師数が最も多いのはどこ？(2022年12月31日現在)

- A. ① 横須賀市
② 茅ヶ崎市
③ 開成町

Q.6 県内市町村で65歳以上人口1000人当たりの特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)定員数が最も多いのはどこ？(2022年10月1日現在)

- A. ① 山北町
② 中井町
③ 箱根町

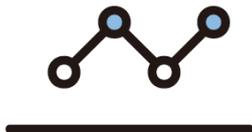
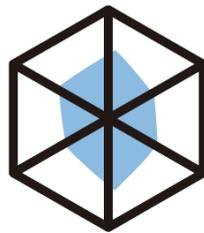
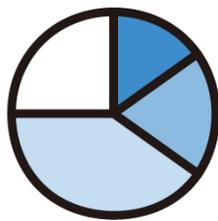
Q.7 県内市町村で人口1万人当たりの障害福祉サービス等事業所数が最も多いのはどこ？(2022年10月1日現在)

- A. ① 座間市
② 秦野市
③ 松田町

答えは82ページ ▶

6

付録



クイズの答え

人口・自然編

A-1 ② 静岡県

2024年4月1日現在、県内市町村で人口が最も多いのは横浜市で376万7635人です。

2023年10月1日現在の人口推計結果と比べると、横浜市は静岡県(355万5千人)と同じくらいの人口です。(3ページ参照)

A-2 ③ 大井町

2023年、県内市町村で最も人口増減率が大きいのは大井町で0.64%です。

11市町村が増加、22市町村が減少し、県全体では-0.03%となりました。(3ページ参照)

A-3 ③ 開成町

2021年、県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのは開成町で1.64でした。次いで大井町が1.55、逗子市が1.46の順となっています。(5ページ参照)

A-4 ① 箱根町

2020年10月1日現在、常住する市町村内で従業(通勤又は自宅で従業)・通学する人の割合が最も高いのは箱根町で57.60%です。

箱根町を含む12市町村では、他市町村に通勤・通学する人より常住する市町村内で従業(通勤又は自宅で従業)・通学する人の割合が高くなっています。(7ページ参照)

A-5 ② 横浜市

2020年10月1日現在、他市町村からの通勤・通学者数(流入人口)が最も多いのは横浜市で41万1548人です。

他市町村からの通勤・通学者の内訳をみると、県内の全ての市町村で、県外からの通勤・通学者よりも、県内からの通勤・通学者の割合が高くなっています。(7ページ参照)

A-6 ① 川崎市

2024年1月1日現在、県内市町村で生産年齢人口割合が最も高いのは川崎市で67.60%、次いで大和市が63.57%です。最も低いのは真鶴町で47.70%です。(9ページ参照)

A-7 ③ 中井町

2020年10月1日現在、県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのは中井町で2.58人、次いで開成町が2.57人です。最も少ないのは箱根町で1.69人です。(11ページ参照)

A-8 ① 山北町

2020年2月1日現在、県内市町村で林野面積が最も大きいのは山北町で198.19km²、次いで相模原市が187.94km²です。開成町は林野面積がありません。

県内市町村のうち、10市町村で林野面積割合が50%を超える一方、11市町村で林野面積割合が10%未満となっています。(13ページ参照)

クイズの答え

産業・労働編

A-1 ① 卸売業、小売業

2020年10月1日現在の神奈川県に常住している就業者を産業大分類別にみると、卸売業、小売業に従事する人の構成比が最も高く、15.52%となっています。次いで製造業が13.49%、医療、福祉が12.37%となっています。(17ページ参照)

A-2 ② 横須賀三浦地域

2021年6月1日現在、県内地域で医療、福祉の事業所の従業者が最も多いのは横須賀三浦地域で18.46%です。

横浜、川崎、県央、県西地域では卸売業、小売業、湘南地域では製造業の割合が最も高くなっています。(19ページ参照)

A-3 ② 三浦市

2022年、県内市町村で農業産出額(推計)が最も多いのは横浜市で121億2000万円、2番目に多いのは三浦市で98億2000万円です。(21ページ参照)

A-4 ③ 湘南地域

2022年、県内地域で製造業製造品出荷額等が最も多いのは湘南地域で4兆3158億9328万円です。次いで横浜地域が4兆2956億7174万円、川崎地域が4兆1343億560万円です。(23ページ参照)

A-5 ② 厚木市

2020年、県内市町村で卸売業の年間商品販売額が最も多いのは横浜市で6兆8758億円、2番目が川崎市で2兆375億円、3番目が厚木市で8447億円です。(25ページ参照)

A-6 ③ 箱根町

2021年6月1日現在、県内市町村で人口1000人当たりの小売店数が最も多いのは箱根町で14.77店です。最も少ないのは綾瀬市で3.15店です(25ページ参照)

A-7 ③ 県央地域

2021年6月1日現在、県内地域で学術・開発研究機関(民営)の従業者数が最も多いのは県央地域で1万9037人です。次いで横浜地域が1万7046人です。(27ページ参照)

A-8 ② 箱根町

2020年、県内市町村で労働力率が最も高いのは箱根町で69.01%、次いで川崎市が68.42%です。

男女別にみると、男性の労働力率が最も高いのは川崎市で77.88%、女性の労働力率が最も高いのは箱根町で63.53%です。(29ページ参照)

クイズの答え

県民生活編

A-1 ① 大井町

2023年10月1日現在、県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ面積が最も大きいのは大井町で122.82㎡です。最も小さいのは川崎市で89.94㎡です。(33ページ参照)

A-2 ② 愛川町

2022年3月31日現在、県内市町村で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのは愛川町で24.88㎡です。

県内地域別にみると、最も大きいのは横須賀三浦地域で14.91㎡です。(35ページ参照)

A-3 ③ 二宮町

2022年度、県内市町村で公共図書館における1人当たり個人貸出冊数が最も多いのは二宮町で7.60冊です。最も少ないのは三浦市で0.76冊です。(37ページ参照)

A-4 ③ 県西地域

2023年3月31日現在、県内地域で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは県西地域で383.47台です。

市町村別にみると、最も多いのは清川村で664.73台です。(39ページ参照)

A-5 ① 座間市

2022年度、県内市町村で1人1日当たりのごみの排出量が最も少ないのは座間市で678gです。最も多いのは箱根町で3326gです。(41ページ参照)

A-6 ② 藤沢市

県内市町村で2023年中の入込観光客数が最も多いのは横浜市で5429万940人、2番目に多いのは藤沢市で1960万8486人です。(43ページ参照)

A-7 ③ 南足柄市

2023年度、県内市町村職員の管理職の女性比率が最も高いのは南足柄市で26.67% (45人のうち12人)です。最も低いのは箱根町で3.03% (33人のうち1人)です。(45ページ参照)

A-8 ① 鎌倉市

2023年度、県内市町村でふるさと納税受入額が最も多いのは鎌倉市で20億5196万8千円です。次いで箱根町で17億3252万7千円です。(45ページ参照)

クイズの答え

教育・子ども編

A-1 ③ 葉山町

2023年5月1日現在、県内市町村で教員1人当たりの幼稚園在園者数が最も多いのは葉山町で14.70人です。最も少ないのは箱根町で2.00人です。(49ページ参照)

A-6 ① 横浜地域

県内地域で、2023年3月高等学校卒業者の大学等進学率が最も高いのは横浜地域で71.07%です。最も低いのは県西地域で60.05%です。(57ページ参照)

A-2 ② 相模原市

2023年5月1日現在、県内市町村で幼保連携型認定こども園数が最も多いのは横浜市内で52園、2番目に多いのは相模原市内で50園です。(49ページ参照)

A-7 ③ 15市町村

2023年5月1日現在、専修学校がある県内市町村は15市町村です。
神奈川県は106校で、うち60校が横浜市にあります。(59ページ参照)

A-3 ② 南足柄市

2022年4月1日現在、県内市町村で保育士1人当たりの保育所入所児童数が最も多いのは南足柄市内で5.89人です。最も少ないのは箱根町で1.94人です。(51ページ参照)

A-4 ③ 藤沢市

2023年5月1日現在、県内市町村で教員1人当たりの小学校児童数が最も多いのは藤沢市内で19.62人です。最も少ないのは箱根町で5.00人です。(53ページ参照)

A-5 ③ 県央地域

2023年5月1日現在、県内地域で中学校数が最も多いのは横浜地域で176校、2番目に多いのは県央地域で83校です。(55ページ参照)

クイズの答え

安全・医療・福祉編

A-1 ② 葉山町

2022年、県内市町村で人口1万人当たりの出火件数が最も少ないのは葉山町で0.95件です。最も多いのは中井町で12.14件です。(63ページ参照)

A-6 ③ 箱根町

2022年10月1日現在、県内市町村で65歳以上人口1000人当たりの特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)定員数が最も多いのは箱根町で40.77人です。次いで中井町が30.23人です。(73ページ参照)

A-2 ① 相模原市

2021年、県内市町村で消防団の出動回数が最も多いのは横浜市で2万6567回、2番目に多いのは相模原市で4599回です。(65ページ参照)

A-7 ② 秦野市

2022年10月1日現在、県内市町村で人口1万人当たりの障害福祉サービス等事業所数が最も多いのは秦野市で11.32事業所です。次いで相模原市が10.63事業所です。(75ページ参照)

A-3 ① 秦野市

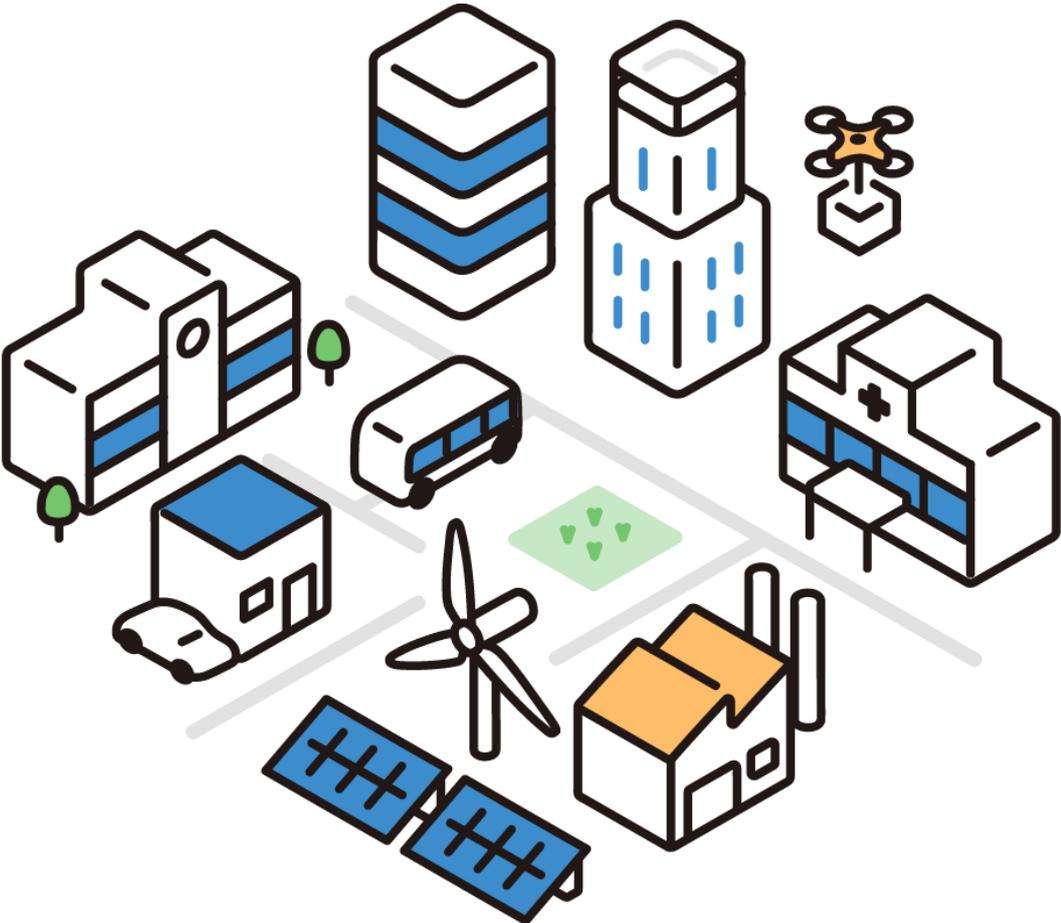
2023年、県内市町村で人口1000人当たりの交通事故発生件数が最も少ないのは秦野市で1.64件です。最も多いのは箱根町で7.07件です。(67ページ参照)

A-4 ③ 伊勢原市

2022年12月31日現在、県内市町村で人口1万人当たりの医療施設に従事する医師数が最も多いのは伊勢原市で70.15人です。最も少ないのは真鶴町で1.54人です。(69ページ参照)

A-5 ③ 開成町

2022年12月31日現在、人口1万人当たりの薬局に従事する薬剤師数が最も多いのは開成町で21.95人です。次いで鎌倉市が20.82人です。(71ページ参照)



指標数値一覧

指標数値一覧

1 人口・自然

表No	指標名	神奈川県	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
1-01	人口	9,218,071人	3,767,635人	横浜市	2024	3
1-02	人口密度(1km ² 当たり)	3,815人/km ²	10,830人/km ²	川崎市	2024	3
1-03	人口増減率	-0.03%	0.64%	大井町	2023	3
1-04	自然増減率	-0.48%	-0.15%	川崎市	2023	3
1-05	社会増減率	0.44%	1.73%	箱根町	2023	3
1-06	婚姻率(人口1000人当たり)	4.19	5.63	川崎市	2021	5
1-07	合計特殊出生率	1.19	1.64	開成町	2021	5
1-08	人口性比	98.21	110.12	愛川町	2024	5
1-09	昼夜間人口比率	91.68	153.25	箱根町	2020	5
1-10	自市町村内での従業・通学者割合	36.67%	57.60%	箱根町	2020	7
1-11	他市町村への通勤・通学者割合	27.50%	41.53%	松田町	2020	7
1-12	うち県内他市町村	13.13%	36.33%	大井町	2020	7
1-13	うち神奈川県外	14.37%	27.16%	川崎市	2020	7
1-14	他市町村からの通勤・通学者数	1,309,636人	411,548人	横浜市	2020	7
1-15	うち県内他市町村	75.75%	98.46%	二宮町	2020	7
1-16	うち神奈川県外	24.25%	44.47%	相模原市	2020	7
1-17	外国人数	260,163人	115,954人	横浜市	2024	9
1-18	生産年齢人口割合	62.70%	67.60%	川崎市	2024	9
1-19	年少人口割合	11.39%	14.24%	開成町	2024	9
1-20	老年人口割合	25.91%	46.00%	真鶴町	2024	9
1-21	100歳以上人口数(人口10万人当たり)	49.95人	138.86人	湯河原町	2020	9
1-22	一般世帯数	4,210,122世帯	1,744,208世帯	横浜市	2020	11
1-23	1世帯当たり人員(対一般世帯)	2.15人	2.58人	中井町	2020	11
1-24	単独世帯割合(対一般世帯)	39.21%	60.38%	箱根町	2020	11
1-25	核家族世帯割合(対一般世帯)	55.83%	68.47%	葉山町	2020	11
1-26	65歳以上の単独世帯割合(対一般世帯)	10.92%	21.37%	湯河原町	2020	11
1-27	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合(対一般世帯)	10.94%	18.95%	清川村	2020	11
1-28	面積	2,416.32km ²	438.01km ²	横浜市	2022	13
1-29	面積割合	-	18.13%	横浜市	2022	13
1-30	可住地面積	1,474.05km ²	401.39km ²	横浜市	2022	13
1-31	可住地面積割合	61.00%	100.00%	開成町	2022	13
1-32	林野面積	935.24km ²	198.19km ²	山北町	2020	13
1-33	林野面積割合	38.71%	89.26%	清川村	2020	13

2 産業・労働

表No	指標名	神奈川県	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
2-01	15歳以上就業者数	4,895,351人	1,999,392人	横浜市	2020	17
2-02	産業大分類別就業者構成比(常住地ベース)	卸売、小売 15.52%	-	-	2020	17
2-03	事業所数	289,668事業所	117,684事業所	横浜市	2021	19
2-04	従業者数	3,769,519人	1,618,721人	横浜市	2021	19
2-05	産業大分類別従業者構成比(事業所ベース)	卸売、小売 17.87%	-	-	2021	19
2-06	農業産出額(推計)	6,710千万円	1,212千万円	横浜市	2022	21
2-07	農業産出額(推計)品目別構成比	野菜 51.71%	-	-	2022	21
2-08	耕地面積	18,000ha	2,590ha	横浜市	2022	21

2 産業・労働 つづき

表No	指 標 名	神奈川県値	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
2-09	耕地率	7.45%	37.13%	三浦市	2022	21
2-10	林業経営体数	139経営体	23経営体	南足柄市	2020	21
2-11	漁業経営体数	1,005経営体	318経営体	横須賀市	2018	21
2-12	製造業製造品出荷額等	18,231,778百万円	4,295,672百万円	横浜市	2022	23
2-13	製造業製造品出荷額等 産業中分類別構成比	輸送用機器 20.73%	-		2022	23
2-14	製造業事業所数	9,911事業所	3,315事業所	横浜市	2023	23
2-15	製造業従業者数	357,750人	91,029人	横浜市	2023	23
2-16	年間商品販売額（卸売業）	12,416,394百万円	6,875,814百万円	横浜市	2020	25
2-17	従業者数（卸売業）	131,663人	68,348人	横浜市	2021	25
2-18	年間商品販売額（小売業）	8,552,545百万円	3,846,147百万円	横浜市	2020	25
2-19	従業者数（小売業）	415,292人	168,665人	横浜市	2021	25
2-20	小売店数（人口1000人当たり）	4.04店	14.77店	箱根町	2021	25
2-21	サービス系産業（民営）事業所数	121,732事業所	49,797事業所	横浜市	2021	27
2-22	サービス系産業（民営）従業者数	1,103,081人	511,464人	横浜市	2021	27
2-23	飲食店数（人口1000人当たり）	3.05店	19.72店	箱根町	2021	27
2-24	学術・開発研究機関（民営）事業所数	528事業所	215事業所	横浜市	2021	27
2-25	学術・開発研究機関（民営）従業者数	53,264人	17,046人	横浜市	2021	27
2-26	労働力率（総数）	63.09%	69.01%	箱根町	2020	29
2-27	労働力率（男性）	73.05%	77.88%	川崎市	2020	29
2-28	労働力率（女性）	53.67%	63.53%	箱根町	2020	29
2-29	「M字カーブ」の谷の深さ（女性）	13.69ポイント	27.24ポイント	清川村	2020	29
2-30	完全失業率	3.68%	5.79%	真鶴町	2020	29

3 県民生活

表No	指 標 名	神奈川県値	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
3-01	持ち家比率	58.71%	86.53%	葉山町	2023	33
3-02	持ち家住宅の延べ面積（1住宅当たり）	97.87㎡	122.82㎡	大井町	2023	33
3-03	一戸建住宅比率	40.74%	83.80%	葉山町	2023	33
3-04	共同住宅比率	56.98%	73.98%	川崎市	2023	33
3-05	空き家比率	9.80%	34.15%	湯河原町	2023	33
3-06	新設住宅着工戸数	64,766戸	26,610戸	横浜市	2023	35
3-07	うち持家数	11,120戸	3,391戸	横浜市	2023	35
3-08	うち貸家数	25,501戸	10,185戸	横浜市	2023	35
3-09	うち分譲住宅数	28,033戸	12,984戸	横浜市	2023	35
3-10	都市公園数	7,709箇所	2,709箇所	横浜市	2022	35
3-11	都市公園面積（1人当たり）	5.75㎡	24.88㎡	愛川町	2022	35
3-12	公共図書館蔵書数	18,244,117冊	4,085,698冊	横浜市	2022	37
3-13	個人貸出登録者数	2,904,840人	737,403人	横浜市	2022	37
3-14	個人貸出冊数（1人当たり）	3.86冊	7.60冊	二宮町	2022	37
3-15	理容・美容所数（人口1000人当たり）	1.29所	2.35所	松田町	2021	37
3-16	登録自動車数（人口1000人当たり）	293.73台	664.73台	清川村	2022	39
3-17	貨物自動車数（人口1000人当たり）	31.70台	164.05台	清川村	2022	39
3-18	普通乗用車数（人口1000人当たり）	140.62台	234.65台	清川村	2022	39
3-19	小型乗用車数（人口1000人当たり）	111.43台	220.67台	清川村	2022	39
3-20	特種用途自動車数（人口1000人当たり）	7.33台	36.15台	清川村	2022	39
3-21	小型二輪車数（人口1000人当たり）	14.99台	30.00台	愛川町	2022	39

3 県民生活 つづき

表No	指標名	神奈川県値	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
3-22	給水人口普及率	99.93%	102.03%	松田町	2022	41
3-23	公共下水道人口普及率	97.09%	100.00%	逗子市	2022	41
3-24	ごみの排出量(1人1日当たり)	801g/人日	3,326g/人日	箱根町	2022	41
3-25	うち家庭系ごみの排出量(1人1日当たり)	431g/人日	808g/人日	湯河原町	2022	41
3-26	ごみのリサイクル率	24.15%	56.28%	鎌倉市	2022	41
3-27	入込観光客数	191,114,262人	54,290,940人	横浜市	2023	43
3-28	うち宿泊客数	17,919,191人	8,364,462人	横浜市	2023	43
3-29	うち日帰り客数	173,195,071人	45,926,478人	横浜市	2023	43
3-30	観光客消費額	432,315,975千円	108,576,627千円	藤沢市	2023	43
3-31	うち観光客宿泊費	120,406,395千円	66,551,319千円	箱根町	2023	43
3-32	うち飲食費	163,488,365千円	44,732,091千円	藤沢市	2023	43
3-33	うちその他消費額	148,421,214千円	57,706,370千円	藤沢市	2023	43
3-34	県内市町村の審議会等委員の女性比率	32.41%	40.99%	横浜市	2023	45
3-35	県内市町村職員の管理職の女性比率	17.83%	26.67%	南足柄市	2023	45
3-36	ふるさと納税受入額	16,959,249千円	2,051,968千円	鎌倉市	2023	45
3-37	ふるさと納税に係る住民税控除額	79,625,189千円	30,467,083千円	横浜市	2024	45

4 教育・子ども

表No	指標名	神奈川県値	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
4-01	幼稚園数	608園	236園	横浜市	2023	49
4-02	幼稚園在園者数	82,798人	32,155人	横浜市	2023	49
4-03	幼稚園在園者数(教員1人当たり)	10.64人	14.70人	葉山町	2023	49
4-04	幼保連携型認定こども園数	168園	52園	横浜市	2023	49
4-05	幼保連携型認定こども園在園者数	24,555人	9,810人	横浜市	2023	49
4-06	幼保連携型認定こども園在園者数(教員・保育職員1人当たり)	6.42人	15.00人	海老名市	2023	49
4-07	保育所数	1,901施設	857施設	横浜市	2022	51
4-08	保育所入所児童数	147,766人	64,043人	横浜市	2022	51
4-09	保育所入所児童数(保育士1人当たり)	4.24人	5.89人	南足柄市	2022	51
4-10	保留児童数	8,869人	3,327人	横浜市	2024	51
4-11	待機児童数	188人	34人	鎌倉市	2024	51
4-12	小学校数	881校	349校	横浜市	2023	53
4-13	小学校児童数	439,962人	176,979人	横浜市	2023	53
4-14	小学校児童数(教員1人当たり)	16.45人	19.62人	藤沢市	2023	53
4-15	小学校外国人児童数	8,244人	3,639人	横浜市	2023	53
4-16	中学校数	471校	176校	横浜市	2023	55
4-17	中学校生徒数	223,823人	90,183人	横浜市	2023	55
4-18	中学校生徒数(教員1人当たり)	15.09人	17.57人	藤沢市	2023	55
4-19	中学校外国人生徒数	2,774人	1,178人	横浜市	2023	55
4-20	高等学校数(全日制・定時制)	228校	91校	横浜市	2023	57
4-21	高等学校生徒数(全日制・定時制)	191,661人	79,821人	横浜市	2023	57
4-22	高等学校生徒数(全日制・定時制)(教員1人当たり)	14.93人	23.33人	松田町	2023	57
4-23	大学等進学率	68.08%	93.94%	箱根町	2023	57
4-24	専修学校数	106校	60校	横浜市	2023	59
4-25	専修学校生徒数	25,810人	19,353人	横浜市	2023	59
4-26	大学等留学生数(居住地別)	10,013人	5,246人	横浜市	2023	59

5 安全・医療・福祉

表No	指標名	神奈川県値	1位の値と市町村		年(年度)	ページ
5-01	出火件数	1,892件	638件	横浜市	2022	63
5-02	出火件数(人口1万人当たり)	2.05件	12.14件	中井町	2022	63
5-03	火災死傷者数	342人	102人	横浜市	2022	63
5-04	火災損害額	1,669,243千円	445,858千円	横浜市	2022	63
5-05	火災損害額(1人当たり)	181.02円	1,324.93円	厚木市	2022	63
5-06	消防署数	288署	98署	横浜市	2022	63
5-07	消防吏員数	10,146人	3,887人	横浜市	2022	65
5-08	消防吏員数(人口1万人当たり)	11.00人	90.84人	箱根町	2022	65
5-09	消防署出動回数	583,885回	234,610回	横浜市	2021	65
5-10	消防団員数	17,881人	7,868人	横浜市	2022	65
5-11	消防団出動回数	38,873回	26,567回	横浜市	2021	65
5-12	交通事故発生件数	21,870件	7,703件	横浜市	2023	67
5-13	交通事故発生件数(人口1000人当たり)	2.37件	7.07件	箱根町	2023	67
5-14	交通事故死傷者数	25,759人	8,949人	横浜市	2023	67
5-15	交通事故死傷者数(人口1000人当たり)	2.79人	11.38人	箱根町	2023	67
5-16	刑法犯認知件数	43,846件	16,059件	横浜市	2023	67
5-17	刑法犯認知件数(人口1000人当たり)	4.75件	7.35件	大和市	2023	67
5-18	病院数	336施設	132施設	横浜市	2022	69
5-19	病院病床数(人口1万人当たり)	79.89床	1,090.24床	清川村	2022	69
5-20	一般診療所数	7,093施設	3,148施設	横浜市	2022	69
5-21	医師数(人口1万人当たり)	22.30人	70.15人	伊勢原市	2022	69
5-22	歯科診療所数	4,983施設	2,124施設	横浜市	2022	69
5-23	歯科医師数(人口1万人当たり)	7.74人	13.11人	横須賀市	2022	69
5-24	看護師・準看護師数(人口1万人当たり)	89.26人	285.14人	清川村	2022	71
5-25	薬局数	4,156施設	1,681施設	横浜市	2022	71
5-26	薬剤師数(人口1万人当たり)	17.43人	21.95人	開成町	2022	71
5-27	保健師数(人口1万人当たり)	3.10人	13.42人	清川村	2022	71
5-28	助産師数(人口1万人当たり)	2.70人	7.10人	伊勢原市	2022	71
5-29	実績医療費(市町村国民健康保険) (1人当たり)	369,707円	420,352円	清川村	2021	71
5-30	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)数	446施設	162施設	横浜市	2022	73
5-31	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 定員数(65歳以上人口1000人当たり)	16.73人	40.77人	箱根町	2022	73
5-32	有料老人ホーム (サービス付き高齢者向け住宅以外)数	1,119施設	330施設	横浜市	2022	73
5-33	有料老人ホーム (サービス付き高齢者向け住宅以外)数 (65歳以上人口1万人当たり)	4.81施設	8.04施設	湯河原町	2022	73
5-34	要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)数 (65歳以上人口1000人当たり)	188.22人	238.66人	逗子市	2022	73
5-35	障害福祉サービス等事業所数	7,517事業所	3,052事業所	横浜市	2022	75
5-36	障害福祉サービス等事業所数 (人口1万人当たり)	8.14事業所	11.32事業所	秦野市	2022	75
5-37	障害児通所支援等事業所数	2,198事業所	747事業所	横浜市	2022	75
5-38	障害児通所支援等事業所数 (18歳未満人口1万人当たり)	16.93事業所	33.16事業所	湯河原町	2022	75

神奈川県的主要統計

神奈川県的主要統計

神奈川県統計センターでは、神奈川県の人口、経済など各分野にわたる統計を作成しています。各統計の詳細な内容につきましては、県統計センターのホームページをご覧ください。

統計センターで作成している統計

神奈川県人口統計調査	国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計しています。
神奈川県年齢別人口統計調査	令和2年国勢調査の年齢別人口を基礎数値とし、住民基本台帳法及び戸籍法に定める出生、死亡、転入、転出の年齢別異動人口を加減して毎年1月1日現在の年齢別人口を推計しています。
神奈川県工業生産指数	経済産業省生産動態統計調査、神奈川県工業生産統計調査などのデータを基に、指定する品目の生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、県内の工業生産活動の推移を指数化したものです。
神奈川県景気動向指数	生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することにより、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された指標です。
神奈川県県民経済計算	神奈川県における1年間の経済活動を、「生産」「分配」「支出」の三つの面から明らかにすることにより、県経済の実態を総合的、体系的に把握しようとするものです。
神奈川県産業連関表	ある1年間の県内で行われた財・サービスの産業間の取引及び産業と家計、県外、国外等との取引をまとめた一覧表です。この表により、本県の産業構造を総合的に把握することができます。また、経済の将来予測や経済政策の効果の測定・分析、あるいはイベントに伴う経済波及効果の計測等が可能となります。

統計センターで作成しているデータ等

神奈川の統計	神奈川県の人口・経済・社会等に関する統計データを総合的に収録したもので、毎月更新しています。
県勢要覧	県内の各分野にわたる統計を収録。昭和23年から毎年作成しています。

神奈川県統計センター ホームページ

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x6z/index.html>



ランキングかながわ(地域編)
～統計指標でみる神奈川～
令和6年12月発行
編集・発行 神奈川県統計センター



問合せ先

本書の内容につきましては、下記までお問合せください。

担当：神奈川県統計センター企画分析課

所在地：〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター5階

電話：045-312-1121（代表） 内線2520～2523

FAX：045-313-7210

